

Sports Graphic
「スポーツグラフィック
ナンバー」
Number

THE NIKKEI
MAGAZINE
STYLE

 JAPAN RUGBY LEAGUE ONE |  NTT

日経マガジンスタイル 24 December 2021



JAPAN RUGBY
LEAGUE
ONE

NTTジャパンラグビー リーグワン2022

2022.01.07

新時代到来!



JAPAN RUGBY
LEAGUE

ONE



GO FOR ONE

まだ世界にないリーグをつくらう

ジャパンラグビー リーグワン

league-one.jp



JAPAN RUGBY
LEAGUE
ONE



2022年1月7日開幕

まだ世界にないリーグをつくらう

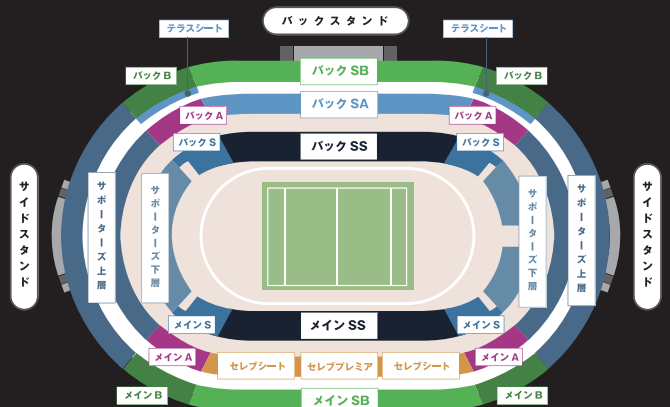
NTTジャパンラグビー リーグワン2022 開幕戦
1月7日(金) 19:15Kick Off 国立競技場

クボタスピアーズ船橋・東京ベイ vs 埼玉ワイルドナイツ

開幕戦チケット情報 ■販売席種・料金

席種	前売料金	当日料金
完売 オープニングセレブレーションシートプレミア	52,000円	
完売 オープニングセレブレーションシート	32,000円	
メインSS	15,000円	15,500円
バックSS	13,000円	13,500円
メインS・バックS	10,000円	10,500円
バックSA	9,000円	9,500円
バックSA小中高	5,000円	5,500円
メインA・バックA	8,000円	8,500円
メインA・バックA小中高	4,500円	5,000円
メインSB・バックSB	6,000円	6,500円
メインSB・バックSB小中高	3,500円	4,000円
メインB・バックB	5,000円	5,500円
メインB・バックB小中高	3,000円	3,500円

席種	前売料金	当日料金
サポーターズシート下層(北/南)	4,000円	4,500円
サポーターズシート下層小中高(北/南)	2,500円	3,000円
サポーターズシート上層(北/南)	3,500円	4,000円
サポーターズシート上層小中高(北/南)	2,000円	2,500円
メイン車いす席・バック車いす席※介助者1名無料	4,500円	5,000円
サポーターズエリア車いす席※介助者1名無料	3,500円	4,000円
完売 テラスシート※8名分(1人当たり9,000円)	72,000円	



チケット購入はこちら

<https://ticket-rugby.pia.jp/ticket/jrlo2022.jsp>

お問い合わせ

大会・チケットに関するお問い合わせ

ジャパンラグビーナビダイヤル TEL: 0570-00-0062 (10:00~18:00 火・日・祝日定休)

※試合のある日・祝日は営業 ※お問い合わせ専用ダイヤルとなります。 ※こちらの窓口でのチケット販売はございません。



1/7
「金」開幕



JAPAN RUGBY
LEAGUE
ONE

ジャパンラグビー リーグワン2022

全試合見られるのはJ SPORTSだけ!

Div1、2 全試合放送! J SPORTS オンデマンドでは Div1~3 全試合配信

Photo by Yuuri Tanimoto Photo by S.IDA Photo by Noriko.ABE ©JRLO

視聴は PC・スマホ・タブレットで!



ラグビー
バック

月額 **1,980円** (税込)

25歳以下の
方なら
U25割で

月額 **990円** (税込)

詳しくはこちら



SNSでも
情報発信中!



twitter
@jsports_rugby



facebook
スポーツ専門TV局 J SPORTS

J SPORTSはBS放送(スカパー!),ケーブルテレビでご覧いただける国内最大4チャンネルのスポーツテレビ局です。

J SPORTS カスタマーセンター: **0570-099-333** (ナビダイヤル/午前10:00~午後8:00) www.jsports.co.jp

※新型コロナウイルス感染拡大に備えた対策によりカスタマーセンターの営業時間が変更となる可能性があります。

JAPAN RUGBY LEAGUE ONE

新時代到来!

NTTジャパンラグビー リーグワン2022開幕特集

Kichi Masumoto

CONTENTS

- 6 玉塚元一JRLO理事長インタビュー
「ONEに込めた様々な思い」
- 8 初代王者はどのチームに。
ディビジョン1を戦う世界のスーパースター
- 13 リーグワンが目指す事業共創の形。
- 14 ラグビーW杯のレガシーを活かせ!
埼玉パナソニックワイルドナイツ&静岡ブルーレヴズ
- 18 母体企業に聞く「企業経営とラグビーの価値」
日野自動車/豊田自動織機

全24チーム紹介&ホストゲーム日程

- 22 DIVISION 1
- 28 DIVISION 2
- 30 DIVISION 3
- 32 ホストゲーム開催スタジアムマップ
- 34 巻末エッセイ「ラグビーを観る楽しみ」 堂場瞬一

編集 文藝春秋 〒102-8008 東京都千代田区紀尾井町3-23

発行 日本経済新聞社 〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7





思い

2022年1月7日、NTTジャパンラグビーリーグワン2022が開幕する。新リーグは、従来のトップリーグから何が変わり、どう運営されていくのか。ジャパンラグビーリーグワン理事長の玉塚元一氏に理念と変革への思いを聞いた。

LEAGUE ONE 新時代到来!

田邊雅之 = 文
text by Masayuki Tanabe
三宅史郎 = 写真
photograph by Shiro Miyake



玉塚元一 LEAGUE ONE 理事長

1962年生まれ。慶應普通部(中学)でラグビーを始め、慶應大学4年時には関東大学対抗戦グループで全勝優勝、全国大学選手権大会で準優勝。社会人時代にはシンガポール代表として香港セブンズに出場。ロッテホールディングス代表取締役社長。10月1日にリーグワンの理事長に就任

——2022年1月7日、いよいよNTTジャパンラグビーリーグワン2022が開幕します。そもそもリーグワンの構想が立ち上げられた経緯からお聞かせいただけますか？

「まず指摘できるのは、2019年のラグビーワールドカップ日本大会が与えたインパクトですね。あの大会を通して、ラグビーという競技に対する認知度が急激に高まっただけでなく、日本中で非常に多くの方がラグビーに熱狂し、感動を覚えてくださった。」

もちろん大会が成功を収めたのは、日本代表がベスト8に進出したことが大きいわけですが、ラグビーが持っている本質的な価値、ノーサイドの精神や自己犠牲の姿勢が、人々の心を打った側面もあると思います。これらの価値観は、日本が本来的に持つ精神性と合致していますし、現代社会や企業経営においても、一層重要になってきていますから。このような追い風を受けながら、日本ラグビーをさらに発展させようという機運が盛り上がり、具現化に動き出したんです」

「リーグワンは従来のトップリーグに代わって、日本ラグビー界の最上位リーグに位置付けられます。具体的には、どのような点が変わるのでしょうか。」

「トップリーグの場合は、日本ラグビーフットボール協会が、試合を主催する形になっていました。対照的に今回の枠組みでは、リーグワンに試合の主管権が委譲され、当初は各チームが、その半数をホストゲームとして開催する形になります。まず、これが最も大きな違いですね。開幕戦はリーグワンが主催しますが、各チームが主体的に試合の在り方を考えていけば、意欲的な取り組みが生まれてくる。こうして日本ラグビー自体を、競技面でもビジネス面においても進化させていくというのがリーグワンの狙いです」

——今、改めて振り返られたときに、トップリーグはどう評価されますか？

「企業経営と同じで、先人たちはそれぞれのステージで頑張ってきた。トップリーグも、森喜朗日本ラグビー協会元会長をはじめとする多くの方々が10年、15年も前から地道な努力を重ねてきたからこそ、基盤が強化されて発展してきたんですね。それを土台に日本代表の強化も進んだ結果、2015年のラグビーワールドカップイングランド大会では日本が南アフリカを破って世界を驚かせ、2019年へつなげたのです。」

しかしトップリーグは、あくまでも日本協会内の一組織という位置付けに留まっていた。このため過去には、責任の所在が明らかではなかったり、コミュニケーションが密ではなかったりした側面もありました。だから今回は、試合の運営主体を独立させて、様々な情報を公開正大に開示しながら、関連に意見や情報を共有できるようにしたんです。こ



[五塚元一 JRLO 理事長に聞く JAPAN RUGBY LEAGUE ONE の理念]

「ONE」に込めた様々な

うすることで自分たちは今、どんな状態に置かれているのか、あるいは未来に向けて、いかなる行動を取るべきかという目的意識も、より明確になっていくんです」

——リーグワンでは、各チームに地域名が冠せられ、ホストエリアの設定も義務付けられました。これも地域に密着しながらラグビーを深く浸透させていく、ファンを開拓し、積極的に活動を展開していくという覚悟の現れだと思っています。試合を主體的に開催する方式も含めて、チーム側にも相当な意識と組織の改革が求められますね。

「新たなリーグの在り方に関しては、思い切った完全なプロ化に踏み切るべきだ」という議論もあつたと思います。

ただし、どのチームも厳しい予算の中で活動を続けてきたのは事実です。母体企業ごとにチームの位置付けや果たすべき役割、組織のカルチャーは異なっています。ならば完全なプロ化に無理矢理こだわらなくても、それぞれのチームカラーや組織文化、地域性などの特色を活かしながら、新たな価値を生み出していく方法を考えた方が、はるかに得られるものは大きい。そうすればチームの組織力も強化され、真の意味でのプレイヤーファーストの環境が生まれていくと思います。これは最終目標である日本代表の強化にも直結しますし、草の根のファン拡大や、各チームの収益性向上にもつながっていくんです」

——リーグワンは「みんなのために FOR ALL」というバリュー、そして「あなたの街から、世界最高をつくらう」というビジョンの下、ファンが熱狂する非日常空間の創造、日本ラグビーの世界への飛躍、地元の結束と一体感の醸成、社会に貢献する人材育成の4つのミッションを掲げています。11月初旬には「事業共創パートナー」という、かつてな

かつた新機軸も導入されました。

「リーグワンに所属しているチームの母体企業や、事業共創に賛同してくださったパートナー企業の総売り上げは、年間で80兆円にも達します。また全社合計で90万人を雇用するなど、各分野を牽引してこられた日本の錚々たるトップ企業が名を連ねている。当然、従来ならば新しいリーグを立ち上げるので、協賛という形での協力をお願いする発想に留まっていたと思います。

でも私たちは、新たなチャレンジをしてきたかった。事業共創、パートナーシップでは、これまでなかった映像配信やチケット販売などの展開はもとより、顧客データを活用した画期的なマーケティング、誰も予想だにできなかった事業の創出さえ可能になる。それはラグビー界の発展だけでなく、日本のビジネス界にとっても起爆剤になるはずだ」

——世界的にも例を見ない試みだと思えますが、その分だけ舵取りも大変になりますね。「日本ラグビーはリーグワンと共に大きく変わっていくと思いますが、重要なのは選手やチーム、地域、そしてファンの方々が最優先で考えていくことに尽きると思います。

たしかにラグビー界には複数のステークホルダーがいますし、それぞれの思惑や利害関係は微妙に異なっています。でもチームが健全に運営され、選手が元気にプレーできなければラグビーという競技は成立しません。私たちは、地域の関係者やファンの方々が、根底で支えてくださっていることも絶対に忘れてはならない。企業経営と同じで、そこが常に立ち返るべき軸になるんです」

——具体的には、どのようなブランドデザインを描いていらっしゃいますか？
「当初の3年間は、ホップ・ステップ・ジャンプの『ホップ』にあたります。このフェー

ズ1では、チームごとにバラツキがあってもいいので、とにかくいろいろな事例を作っていくようにする。その上で、どのモデルが最適なのかを、全員で走りながら一緒に考えていくようなイメージです。

各チームから出てくるアイデアには、試合の運営やファンエンゲージメント、チーム強化、プロ契約を結ぶ選手の比率、地元の教育機関や自治体とのコラボレーション、さらには企業向けの人材育成サービスや現役引退後のセカンドキャリアの作り方に至るまで、様々な要素が含まれてくるでしょう。この第1段階はきわめて重要になります」

——意図的に試行錯誤を繰り返していくと。次のフェーズ2では、アジアも視野に入ってくると思います。アジア市場は拡大し続けていますし、2030年には世界のGDP成長の6割を占めるとさえ言われている。しかもアジアの中で、しっかり運営されているリーグがあるのは日本だけなんです。ここを見据えてデジタル配信やファン開拓、アジア全域での競技の普及と底上げをしていけば、可能性はもっと広がっていきます」

——1月7日の開幕戦では、5万2000円のプレミアムシートも設定されるなど、リーグワンは既に大きな話題を集めています。今後がますます楽しみです。

「リーグワンの『ワン』には、日本中の人々を感動させたようなワンチームの精神、ファンや地域、選手やチームが一体となって盛り上がりつつあるという意味でのワン、そして唯一無二のモデルになるという意味でのワンなど、様々な意味が込められているんです。

だからこそ私たちは、必ずや成功させなければなりません。リーグワンはラグビーが持つ素晴らしい価値を、一人でも多くの方に知っていただく理想的な基盤になりますから」

どのチームに。



[ディビジョン1を戦う世界のスーパースター]

初代王者は

昨シーズンまでのトップリーグに替わる新リーグ、NTTジャパンラグビーリーグワン2022がいよいよ開幕する。世界のスーパースターたちが続々と加入し、これまで以上に魅力あふれる試合が期待される。初代王者に輝くのははたしてどこか。

LEAGUE ONE
新時代到来!

永田洋光 = 文
text by Hiromitsu Nagata
photograph by Kichi Matsumoto
photographs by AFLO



PIETER-STEPH DU TOIT

FL ピーターステフ・デュトイ
トヨタヴェルブリッツ●南アフリカ代表

NTTジャパングラグビーリーグワン2022が、年明け1月7日に開幕する。

リーグワンでは、ディビジョン1に所属する12チームが、6チームずつカンファレンスA、カンファレンスBに分かれ、ホスト&ビジター方式で総当たり戦を2回行う。さらに異なるカンファレンスの6チームともすべて1回ずつ対戦するから、各チーム16試合を戦うことになる。そして勝ち点が多い4チームが、5月下旬開催予定のプレーオフトーナメントに進出。初代王者をかけて激突する。

カレンダーで言えば、1月7日から始まる第1節から2月6日に終わる第5節までが、各カンファレンスの総当たり戦の1回戦目。

1週間の休養週（バイウィーク）を挟んで、2月19日の第6節から3月27日の第11節終了までが交流戦で、もう一度バイウィークを挟んで、4月9日の第12節から5月8日の第16節終了までが、総当たり戦の2回戦目となる。

各チームは、開幕から5連戦、6連戦、5連戦と休む間もなく戦い続けるのだが、このフォーマットが、実は優勝争いにかなり影響を及ぼすことになりそうだ。

肉体を激しくぶつけ合うラグビーで試合が5週間、6週間と続けば、当然ケガによる主力選手の離脱やコンディションの低下が予想される。そんな状況下で、選手をローテーションで休ませながらも戦力を落とさず連戦に臨み、チームがターゲットとする大一番にベストメンパーを揃えることができるかどうか——ここがリーグワンの見所であり、各チーム首脳陣の知恵の見せ所だ。

リーグワンはまさに総力戦なのである。

海外代表選手3人の同時出場が可能。新ルールで有利になるチームは？

そんな総力戦を戦う上で大きな戦力となる



MARIKA KOROIBETE

WTB マリカコロインベテ

埼玉ワイルドナイツ・オーストラリア代表

初代王者はどのチームに。

のが、各チームに入った世界のスーパースターたち。なかでも今季最大の目玉は、トヨタヴェルブリッツに加入した南アフリカ代表FLピーターステフ・デュトイだ。

デュトイは、日本中がラグビーW杯に熱狂した'19年の年間最優秀選手。この大会で優勝した南アフリカを、骨惜しみしないハードワークで支えた功績が高く評価された。

プレースタイルは、身長200cm体重116kgの巨体の持ち主とは思えないほどスピーディで、攻守にわたって常にボールを追い続ける。強烈なタックルで相手とコンタクトした地点から一歩も下がらず、逆に押し返しながらボールをもぎ取り、一気に相手の背後へと突き抜ける。ピッチに立つ間中、常にボールを追う究極のボールハンターだ。

しかもヴェルブリッツには同時に、ニュージーランド代表LOパトリック・トゥイプロトウも加入。こちらも現役バリバリのオールブラックスで、身長はデュトイより2cm低いですが、体重120kgの巨体で相手をはね飛ばす。空中戦にも強く、柔らかなタッチでの捕球はチームの大きな武器になる。

今季は、日本代表No.8姫野和樹がチームに復帰。昨季スーパーラグビーのハイランダーズでプレーして、得意のジャッカルだけではなく、ランニングやパスのスキルにも磨きがかかった。今、もつとも脂ののっているプレーヤーで、トゥイプロトウ、デュトイ、姫野の3人が揃うFWは破壊力抜群だ。

バックスには、チームにすっかり定着した、やはり南アフリカ代表のFBウィリー・ルル1が控えている。リーグワンの規約では、海外で代表歴を持つ選手が同時に3人ピッチに立てるので、最後尾にルル1を配して、パランスのとれたチーム作りが可能になる。これも、ヴェルブリッツにはプラスとなる。

総合力の高さで頭一つ抜けているのは、昨季トップリーグのラストシーズンに制した埼玉ワイルドナイツ。ロビー・ディーンズ監督が、築き上げた層の厚さが何よりの強みだ。

もちろんメンバーも豪華で、現役オーストラリア代表WTBのマリカ・コロインベテが加わって、引退したWTB福岡堅樹の穴を埋める。福岡は、超絶的なスピードで防御を切り裂く鋭利な日本刀のようなイメージだったが、コロインベテは、スピードに加えて相手を弾き飛ばす力強さをあわせ持つ。チェーンソームみたいなタイプといえる。

ゲームを仕切るハーフ団には、SH内田啓介―SO松田力也の日本代表コンビと、小山大輝―山沢拓也のスピード感あふれるペアの2組を用意。ゲーム展開に応じて使い分ける。しかもFLベン・ガンター、No.8ジャック・コーネルセン、CTBデイラン・ライリーが

次々と日本代表に選ばれたように、代表歴のない、若い外国人選手を積極的に採用してチームで育成するなど、選手の潜在能力を開花させることにも秀でている。

FWもフロントローは先発全員が日本代表で、ベンチに控えるH/Oも堀江翔太という豪華さ。他のポジションにも代表組が控えていて、次代の代表候補ともいえる若手と激しいポジション争いを繰り広げる層の厚さが、厳しい日程を乗り切る大きな武器になる。

その埼玉ワイルドナイツにリベンジしての初代王者に挑むのが、東京サンゴリアスだ。11月22日には現役ニュージーランド代表40キヤップのダミアン・マッケンジーの入団を発表。昨季所属していたボードン・バレットに続いて、FBもSOもできるオールブラックスのスター選手を迎え入れ、アグレッシブ・アタッキングラグビーの中軸に据えた。

バックスはSHをどちらも日本代表の流大と齋藤直人が担い、コンピを組むSOには5年目の田村熙。インサイドCTBにキャプテンでチームの精神的支柱でもある中村亮土を据えて、背後からマッケンジーが自在にアタックに絡む。あるいは、マッケンジーをSOに入れて、多彩な仕掛けとゲームの組み立てを任すことも可能で、ラインを動かす顔ぶれは豪華そのものだ。

彼らに変幻自在に仕掛けて生まれたスペースに走り込むのは、アウトサイドCTBでオーストラリア代表のサム・ケレビヤ、昨季10トライを挙げてトライ王（タイ）となったWTBテビタ・タタフと、さらにはFB尾崎晟也ら、名うてのフィニッシャーたち。これで、今季もトライの量産体制ができあがった。

FWもフロントローには日本代表がずらりと並び、その後ろには、シヨーン・マクマー

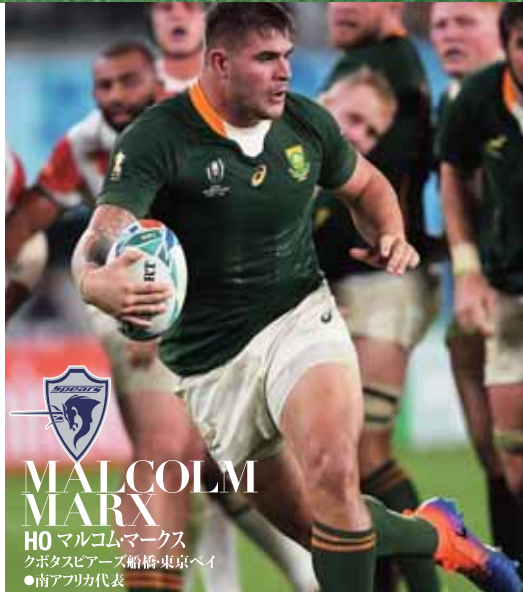
ン、テビタ・タタフといったパワフルなメンバーが控える。さらに今季は、明治大学から突破力に秀でたFL釜本龍雅が加入。一段と層が厚くなった。

昨季、創部以来初のベスト4に入ったクボタスピアーズ船橋・東京ベイも、初代王者に向けて牙を研いでいる。昨季の躍進は南アフリカ代表H/Oマルコム・マークスの加入が大きく、マークス自身シーズン通算8トライをあげ、FWで最多トライを記録した。つまり、ラインアウトからのモール攻撃が破壊力抜群だったのだ。

クボタスピアーズ船橋・東京ベイにとって、海外の代表歴を持つ選手が同時に3人ピッチに立てるようになったことも追い風で、SOとしてゲームを司るオーストラリア代表のバーナード・フォーリーと、CTBとしてキャプテンの立川理道とともにラインを動か



DAMIAN MCKENZIE
FB/SO ダミアン・マッケンジー
東京サンゴリアス
●ニュージーランド代表



MALCOLM MARX
HO マルコム・マークス
クボタスピアーズ船橋・東京ベイ
●南アフリカ代表



KAZUKI HIMENO
No.8 姫野和樹
トヨタヴェルブリッツ●日本代表

Kitchi Matsuno

すニュージーランド代表のライアン・クロックティが、マークスと同時出場できるようになった。

チーム内のポジション争いも激化していて、昨季FBの座を射止めた金秀隆が、今季は、男子7人制日本代表から戻ってきた合谷和弘と、背番号15を争う。

クボタスピアーズ船橋・東京ベイは、リーグワン発足前から情報発信に精力を注ぎ、チームとしての雰囲気の高さを外部に発信してきた。フラン・ルディケHC（ヘッドコーチ）が5シーズンをかけて築き上げてきた、ひたむきなチームカラーが一気にブレイクするかが今季の注目点だ。

トップリーグ初代王者のコベルコ神戸スティーラーズは、リーグワンでも初代王者の榮譽を狙っている。

昨季は準々決勝でクボタスピアーズにベスト4進出を阻まれたが、今季はSOアロン・クルーデン、CTBベン・スマイスという、キヤップ数合計134のオールブラックスコンビがバックスに定着の見込みで、彼らが動かしたボールをCTBラファエレティモシー、FB山中亮平の日本代表組やWTB山下葉平がトライに仕上げる。

FWにも日本代表PR具智元が加入し、フロントローには日本代表経験者がずらりと顔を揃える。課題は世界のレジェンド、LOプロディ・レタリックが抜けた穴をどう埋めるかだが、このピースが埋まれば、一気に頂点が見えてくる。

上位進出を狙うチームにも 続々と海外のスタープレイヤーが加入。

南半球出身の外国人選手が多いなか、北半



AARON CRUDEN
SO アーロンクルーデン
コベルコ神戸スティーラーズ ● 元ニュージーランド代表



BLAIR COWAN
FL プレアカーワン
ブラックラムズ東京
● 元スコットランド代表



JESSE KRIEL
CTB ジェシークリエル
横浜キヤノンイーグルス ● 南アフリカ代表



ISRAEL FOLAU
FB/CTB/WTB
イズラエルフォラウ
シャイニングアークス東京ベイ浦安
● 元オーストラリア代表

球から強い動きをするプレイヤーを補強したチームもある。

ブラックラムズ東京は、スコットランド代表18キヤップを持つFLプレアカーワンを、グリーンロケッツ東葛は、ウェールズ代表50キヤップのLOジェイク・ボールを、それぞれ獲得して上位進出を狙う。

ブラックラムズ東京は、昨季上位チームと僅差の接戦を繰り返しながらも惜敗が続いた

ちながら、19年に15人制を離れ、13人制のラグビーリーグに活躍の場を移していた異能のFBイズラエル・フォラウが、シャイニングアークス東京ベイ浦安に加入したのも、ファンには嬉しいニュースだった。

シャイニングアークス東京ベイ浦安は、昨季スコットランド代表SHグレイグ・レイドロを獲得したが、持ち味を十分に発揮するには至らなかった。しかし、今季から採用される50・22ルール（自陣から蹴ったボールがバウンドして相手陣22mラインを越えてタッチラインを出た場合にマイボールラインアウトになる）は、キックの名手レイドロにとって、大きなプラスになるだろう。

NTTDコモレッドハリケーンズ大阪にはかつてNTTDコミュニケーションズシャイニングアークスでプレーした南アフリカ代表SOのエルトン・ヤンチースが加入。日本のラグビー事情をよく知るだけに、活躍が期待される。新加入のスター選手がいなくとも、ビッグネームがすつかり定着したチームにも触れておこう。

横浜キヤノンイーグルスの南アフリカ代表CTBジェシー・クリエルは、攻撃の核として欠かせない存在。同様に、静岡ブルーレヴズの南アフリカ代表FLクワツガ・スマイスも、素晴らしい働きを見せている。

ニュージーランド出身で中学2年時に来日、大学を経ずに流経大柏高から東芝ブレイブルーパス東京に入団したLOワーナー・デアアンズも注目株。19歳にして身長202cm、体重124kgと体格に恵まれ、11月13日のポルトガル戦で日本代表初キヤップを獲得した。初年度に、そんな大型ルーキーの誕生を目標できるのも、リーグワンの楽しみだ。 ■

リーグワンが目指す 事業共創の形。

LEAGUE ONE 新時代到来!

田邊雅之 = 文
text by Masayuki Tanabe



21年11月、リーグワンはリーグパートナー契約を発表。豪華な顔ぶれもさりながら、特に注目されたのは「事業共創パートナー」というコンセプトだ。専務理事の東海林一は、その狙いと枠組みを次のように説明する。

「パートナーの中には、映像や配信、ゲーム、アプリの開発に強い企業がいらっしやる。各企業の強みを活用することにより、まず1つ目の柱である、デジタルコンテンツマネージメント事業が展開できるようにになります。そこにチケットの販売と決済システムを組み合わせつつ、様々なデータベースを構築していけば、2つ目のファンエンゲージメント事業も充実

していく。各社は日本国内でも数千万、世界規模なら数億人単位の顧客基盤を持っているので、ラグビーに縁のなかった方々にまでリーチできますから。こうしてファンの獲得から試合への動員、マネタイズに至るまでのエコシステム（循環型の収益システム）が成立するんです」

ただし、と東海林は言葉を継ぐ。

「事業共創は各企業が持っているノウハウやシステムを単に利用して、ラグビーファンを1万人から1万2000人に増やしていくようなことというプロジェクトではありません。私たちが考えているのは、その一歩先です。

たしかにパートナー企業は、独自のプラットフォームを介してお客様と接している。しかし従来のプラットフォームは、それぞれの分野だけで活用されるに留まってきました。

ならばリーグワンをハブにして、プラットフォームを横断的に連携させていけばいい。それが実現できれば、スポーツだけでなくビジネスの分野においても、全く別のルートに沿って人が集まり、アイデアやチャンスが生まれてきますから。このような「場」を設ける、プラットフォームを統合した新たなプラットフォームを作るといのが、事業共創の最大の目的なのです」

東海林は、ラグビーが日本社会で担う機能を根本から変えようとしていると言っ

てもいい。鍵を握るのはやはり「接点だ」。

「スポーツは観るだけでなく、楽しむこともできる。プラットフォームをつなげれば、子供たちがリーグワンの選手から直接アドバイスをもらったり、自分の成長記録として映像を残しておいて、大人になってから家族と共に振り返ったりすることなどもできるでしょう。

ラグビーは、年間の試合数が限られています。でも、毎日の生活の中にさりげなく、そして必ずラグビーが顔を出すような環境を作っていければ、草の根レベルから広く深く浸透させていくことができるんです」

このような手法は、第4の要素であるタレントディベロップメント事業へつながる。現に国内外のスポーツビジネス界では、チーム運営で得られたエッセンスをパッケージ化し、企業の人材育成や人事評価、営業、企画業務に援用しようとする動きが顕著だ。

「そもそもラグビーは、責任感と自己犠牲の精神を持った人材を育成するのに最適な競技だとされてきました。目標を立てて、各自が努力をし、チーム全体を機能させるために献身するという発想は、

企業活動を成功に導く条件と完全に重なるからです。たとえばオールブラックス（ユニージャーランド代表のメンバーは、現役時代から企業で講演を行ったりしますし、引退後に実際に人材コンサルタントになるケースもあるんですね。

当然、リーグワンでも「ワンチーム」の精神に象徴されるようなチームビルディングのノウハウをどんどん提供していきたい。企業だけでなく学校現場でも優れた人材を起用できますし、ラグビー界にとつては現役引退後の受け皿作りにもなります」

リーグワンは新機軸として施設・ベニュー運営事業も提示。22年1月7日の開幕戦で、5万2000円ものプレミアシートが設定され、大きな話題を呼んだのは記憶に新しい。

「私たちは高価な席を増やすことで、採算性を確保しようとは思っていません。むしろ目的は、新たなスポーツエンターテインメントを確立しつつ、日本におけるラグビーのステイタスを上げる。ひいてはビジネスにもつながるような、社交の場を提供させていただくことです。リーグワンのパートナーには、ホスピタリティを手がけている企業も含まれていますから、そこ他の企業が手を組めば、試合会場がかつてない観戦体験や斬新なファンサービスを実験的に展開することも可能になってくる。こうして4つの事業はもっと連動し、融合していくんです」

事業共創は無限の広がりを持っている。そう水を向けると、東海林は深く頷きながら断言した。

「スポーツは競技だけでは自立できない。競技、ビジネス、社会的な価値という3要素が理想的な形で組み合わさって初めて成立するし、強く豊かに発展していく。その点においてもリーグワンは、まさに世界で最も進んだスポーツリーグの在り方を提示しているんです」

13



埼玉。パナソニッククワイルドナイツ&静岡ブルーレヴズ

Panasonic

SAITAMA Panasonic WILD KNIGHTS



「特別読物」

ラグビー W杯の

LEAGUE ONE 新時代到来!

大友信彦 = 文
text by Nobuhiko Otomo
釜谷洋史 = 写真 (ユニフォーム)
photographs by Hirofumi Kamaya

ラグビートップリーグ (TL) 最後のシーズンは、パナソニックの優勝で幕を閉じた。そのパナソニックは、新たに始まるNTTジャパンラグビーリーグワン2022には「埼玉、パナソニッククワイルドナイツ」として参戦する。新リーグでも初代王者へ最短距離にいると目されている。だが今日の姿は、順調に築かれたものではなかった。

03年にTLが始まった頃、当時の母体だった三洋電機は経営危機にあえいでいた。外資が参入し、不採算部門の整理・統合が進められた。ラグビー部も安泰ではなかった。

「2007年でした。会社(三洋電機)が『ラグビー部48年史』を作り始めたんですよ。おかしいでしょ(笑)。どう考えても、50年まで続ける気がないんだと分かった」

埼玉クワイルドナイツの飯島均GMは苦笑した。旧全国社会人大会で三洋電機が神戸製鋼と死闘を繰り広げた1990年代に、主将や監督を歴任したチームの顔だ。

「結局、そのシーズンに日本選手権に初優勝、そこから3連覇して何とか50年まで続いて、パナソニックに吸収されて存続できた。ホントにすれすれで生き残ったチームなんです」

パナソニックに吸収されたとき、飯島は自ら希望してチームの拠点の群馬を離れ、大阪のパナソニック本社に転勤した。TLで活動するにはざっと年間15億円が必要だ。チームにはそれだけの投資価値があることを、本心に理解してもらわなければならない。

「従業員27万人の会社に1人で乗り込んで、はったりから何から言いまくりました(笑)」

飯島は雄弁家として知られる。話が面白く、具体的で、どこまでも発展する。その話術と情熱、相手の懐に入り込む人間力を駆使し、ラグビー部の存続を勝ち取ると、飯島は本拠地移転の模索を始めた。ホームとしていた太田市の陸上競技場は老朽化が進み、日本一のチームのホームスタジアムにはそぐわない。

常勝軍団であり続けるにはまず城から。飯島は関東・関西の垣根を越えてスタジアムを探し歩き、自治体の首長と会った。多くのチームにとってリーグワン参入へ具体的な準備を始めたのは19年7月、日本ラグビー協会の清宮克幸副会長が、「W杯開催地12スタジアムを本拠地とするプロリーグ」構想をぶち上げてからだった。飯島とパナソニックはその数年も前から動き出していたのだ。

W杯の盛り上がりを持続させるための熊谷市とパナソニックの新たな試み。

そこに話を持ち込んだのが埼玉県であり熊谷市だった。熊谷は19年W杯の開催地に立候補していた。熊谷ラグビー場は1991年に竣工。メインスタンド以外は大半が芝生席で、埼玉県はW杯に向けた改修にあたり、旧ラグビー場の公称収容人数「2万4000人」を個席で実現させることを決めていた。

同時に、W杯後も持続性のある有効なスタジアム活用法が検討された。埼玉県は有識者

レガシーを活かせ!

2019年、日本中を熱狂の渦に巻き込んだラグビーW杯。そのレガシーを活かし、従来の企業スポーツの枠から大きく踏み出し、新たな挑戦を始めたチームがある。自治体、県協会、母体企業が一体となり地域密着を図る埼玉パナソニックワイルドナイツと静岡ブルーレヴズの動きを追った。



YAMAHA

SHIZUOKA BlueRevs

会議を開き、トップチームのホームとして使ってもらおうのが最善という結論を出した。呼ぶなら、これまでも熊谷を準ホームとしてきたパナソニックだ。早速、W杯招致を機に結成された県のラグビー振興議員連盟からパナソニックへ「本拠地移転要望書」が提出された。熊谷ラグビー場改修中の17年には埼玉県ラグビー協会がニュージブランドのハイランダーズを招き、パナソニックとの国際交流試合を熊谷陸上競技場で開催。T.L公式戦でも、ラウンジでの飲食とお土産付きのプレミアムシートを販売するなど独自の施策も展開した。そしてW杯を経た20年7月14日、パナソニックの本拠地熊谷移転が発表された。ラグビー場のある熊谷スポーツ文化公園内に、天然芝の練習グラウンドとクラブハウス、一般客も泊まれる宿泊棟を含めた複合施設を埼玉県ラグビー協会が約35億円を借り入れて建設。パナソニックは35年の定期建物賃貸借契約を結び、賃料を払う。県の公園内に私企業が独占的に使用する施設を設置するという高いハードルは、協会という準公的機関が所有し、地域振興を図る施設と位置づけて乗り越えた。その理念は施設の姿に反映された。練習グラウンドにフェンスはなく、誰でも間近で練習を見学できる。クラブハウスにはカフェレストランも併設。従来のT.Lチームは企業の敷地内グラウンドで活動するチームが多く、関係者以外の練習見学は難しかった。埼玉ワイルドナイツはそこから大きく踏み出した。

地域の人が集まり、外から人を呼び込む場所を作る。中心には埼玉ワイルドナイツがいる。「市民も歓迎してくれています。私が見に行つたときは、大勢の人が鈴なりで見学していました」W杯招致に尽力し、21年11月まで在任した熊谷市の富岡清前市長は振り返る。「やはりW杯が大きかった。熊谷市では小中学生1万4000人に、希望者は全員W杯の試合を生で見られるよう招待しました」各学校では観戦する国の歴史や文化を学ぶ、伝統料理を給食で食べ、応援に備えたという。「W杯では周囲の自治体にも協力して頂き、シャトルバスも熊谷だけでなく森林公園や太田、羽生駅からも出してもらい、好評でした」移転受け入れに際しては、日本拠地だった群馬県の太田市、大泉町とも地域振興協定を結び、行政の協力関係を構築した。埼玉ワイルドナイツが埼玉に留まらず、北関東エリア全体の一体感を作る存在になれば嬉しい。とはいえない理念だけで事業は回らない。埼玉ワイルドナイツ事業化の司令塔となるのが20年10月に社内設立されたスポーツマネジメント推進室だ。企業スポーツだったラグビー部とバレーボールVリーグのパンサーズ、筆頭株主として出資しているJリーグのガンバ大阪、この3競技で事業化を進めるのが目的だ。同推進室は、22年4月からパナソニックスポーツ株式会社として独立法人化する。リーグワン24チームで、複数の競技を抱合した株式会社化はパナソニックが初めてだ。

「スポーツの事業化は、正直しんどいです」
 スポーツマネジメント事業担当の片山栄一
 常務執行役員は苦笑した。企業スポーツ時代
 は、人件費や活動費は福利厚生や社会貢献の
 名目で拠出されてきた。そこに事業性という
 尺度を持ち込めば採算が求められる。広告宣
 伝費と位置づければ広告効果が問われる。中
 でもラグビーはシーズンが短く試合数も少な
 い。だが、その厳しい条件が、事業化を進め
 るためのアイデアを導いた。

「我々は3つのチームのシナジー効果でスポ
 ーツの価値、パナソニックの価値を向上させ
 る構造を作りたいんです。各々の競技の魅力
 を組み合わせれば、季節性にも環境の変化に
 も強い、事業性と持続性のある組織が作れる」
 ビジネスとしてはデジタルコンテンツ、デ
 ジタルマーケティング分野への展開を脱む
 が、「スポーツは目先の採算にとどまらない
 力と可能性を持っています」と片山常務は言
 う。パナソニックのスポーツ事業が社会に元
 気をもたらし、地域に貢献すれば、パナソニ
 ックのブランド力、広告価値、投資価値を高
 める形で企業に還元される。

これまで企業スポーツは、どんなに成績が
 良くても会社の事業が苦しくなれば廃部の危
 機に見舞われるのが宿命だった。しかし、ス
 ポーツが企業の価値向上と社会的利益に寄与
 し、まるでDNAの二重らせんのごとく絡み
 合って発展していけば、宿命を打破できる。
 赤城おろしから風が関東平野を吹き抜
 ける季節。新しい物語が、埼玉から始まろう
 としている。

ラグビー不毛の地に種を蒔き続けた ヤマハ発動機が目指すプロ化。

一方、ラグビー単体での株式会社化にいち
 早く踏み切ったのが、ヤマハ発動機から誕生

した静岡ブルーレヴズだ。'21年6月23日に、
 リーグワン(という名称も正式発表されてい
 なかった時期だ)参入全24チームの先頭を切
 って株式会社設立会見を挙げた。

静岡の物語も、原点にはW杯があった。エ
 コパで行われた4試合の最初の試合が、日本
 代表が優勝候補アイルランドを破った一戦
 だ。それはやがて「静岡ショック」と呼ばれた。
 「静岡はラグビー不毛の地で、W杯開催が決
 まっても、なかなか盛り上がっていない。な
 がった。それがあの日、一変しました。それまで『日
 本代表なのに日本人が少ない』と言っていた
 人たちが、『これこそダイバースティだよね?』
 とか言いだして、全面的にラグビーの
 味方になった」

静岡県ラグビー協会の星野明宏代表理事は
 笑う。静岡県ラグビー協会は'21年4月、一般
 社団法人化した。全国の地域協会でも一般社団
 法人化した組織は数少ない。なぜ法人化を?
 「W杯のあと、県を中心に『ラグビー聖地化
 検討会』が立ち上げられました。W杯のレガ
 シーを活かすために、エコパで、ラグビーの
 持つ倫理観や教育力も活用して、スポーツの
 価値を未来に伝えていこう」と

そのタイミングで新リーグが誕生する。静
 岡に本拠地のあるヤマハ発動機も参戦する。
 エコパの聖地化には新リーグと連動していく
 必要がある。それには素早い意志決定と機動
 力が必要だ。従来はボランテニアベースでは
 追いつかない。星野の答えは法人化だった。
 では、ヤマハの側からはどう見えていたか。

'19年7月に清宮副会長が発表したプロリー
 グ構想は、W杯の盛り上がりを経て軌道修正
 された。うまくいってるとんだから焦って変え
 なくてもいいじゃないか――そんな声があが
 り、新リーグの姿はプロアマの混在となり、
 企業チームの枠にとどまる選択も容認された。

19年7月に清宮副会長が発表したプロリー
 グ構想は、W杯の盛り上がりを経て軌道修正
 された。うまくいってるとんだから焦って変え
 なくてもいいじゃないか――そんな声があが
 り、新リーグの姿はプロアマの混在となり、
 企業チームの枠にとどまる選択も容認された。



1

K Nomoto/studio Kone



2

Kumagaya City



3

K Nomoto/studio Kone



4

SAITAMA Panasonic WILD KNIGHTS



HISTORY

1960	東京三洋電機ラグビー部創設
1968	関東社会人リーグ1部に昇格
1986	三洋電機ラグビー部に改称
1988	東日本社会人リーグ優勝(1998年まで7回優勝)
1996	全国社会人大会優勝(サントリート両者優勝)
1997	群馬県太田市に新グラウンド完成
2003	三洋電機ワイルドナイツとしてトップリーグに参戦
2006	トップリーグ2位
2008	トップリーグ1位、プレーオフ準優勝、日本選手権優勝
2009	トップリーグ2位、プレーオフ準優勝、日本選手権優勝
2010	トップリーグ1位、プレーオフ準優勝、日本選手権3連覇
2011	トップリーグ2位、プレーオフ優勝、日本選手権準優勝
	パナソニック ワイルドナイツに改称
2012	トップリーグ3位、プレーオフ準優勝、日本選手権準優勝
2014	トップリーグプレーオフ優勝、日本選手権優勝
2015	トップリーグプレーオフ優勝
2016	トップリーグプレーオフ優勝、日本選手権優勝
2017	日本選手権準優勝
2018	トップリーグプレーオフ準優勝、日本選手権準優勝
2019	日本選手権兼トップリーグプレーオフ優勝
2021	埼玉パナソニックワイルドナイツに改称 本拠地を埼玉県熊谷市に移す

①'21年9月18日、新しい本拠地「さ
 くらオーバルフット」のオープン
 グセリモノーが行われた。②令和3
 年度ラグビータウン熊谷ポスター展
 に入賞した3作品。③合宿に訪れた
 高知龍馬空港で花束贈呈。④アス熊
 谷3Fのワイルドナイツミュージアム

「でも、それじゃもう一段上へは行けないと
 思いました」と、静岡ブルーレヴズ管理部の
 上田弘之部長は言う。昨季はヤマハ発動機ラ
 グビー部の部長を務めていた。

「ヤマハは会社自体が『感動創造企業』とい
 うDNAを持っていて、社業でもスポーツで
 も世界を目指すという旗印でやってきた。こ
 れまでは会社を支えてもらってきたけど、W
 杯でラグビーの魅力を多くの人が知ってく
 れたことで、より多くの人に支援していただ
 くチャンスがきたと考えました」

上田は同志社大時代にU23日本代表や学生
 日本代表に選ばれ、大学卒業後の'91年に強化
 を始めて間もないヤマハ発動機に進んだ。

上田は同志社大時代にU23日本代表や学生
 日本代表に選ばれ、大学卒業後の'91年に強化
 を始めて間もないヤマハ発動機に進んだ。

「静岡はラグビー不毛の地でした(笑)」

ヤマハの選手・スタッフはラグビーの種を
 蒔くことから始めた。'00年にはヤマハ発動機
 ラグビーセミナーを開校。地域の商工会と連
 携してスタジアム満杯プロジェクトを組み、
 公式戦の試合後にファン交流会を開催。'05年

度と'07年度はヤマハスタジアムでの試合がT
 Lのシーズン最多観客数を、'04年度と'06年度
 も2位を記録した。困難に挑むカルチャーが
 このチームには根付いている。

上田はヤマハ発動機の代表として、'17年か
 らTLの進化形を模索して始まった会議『TL
 ネット』にも出席していたが、ヤマハの
 ような地域貢献活動をしているチームは少な

「静岡ブルーレヴズ」を舌かき

かった。上田は、チームの先人たちの努力に改めて感銘を受けた。そこに新しいリーグ構想が降ってきた。上田はヤマハの積み重ねてきた取り組みを発展させたいと思った。そのためは株式会社化が必要だ。専門的な人材を採用し、迅速に意思決定を行うには組織がプロとして独立していなければならない。

チーム名は「静岡ブルーレヴズ」に決まった。リーグ側は社名を入れても可としていたが、ヤマハ発動機は社名を外した。

「世界で戦うレヴズは、ヤマハのチームなんだね」と言われるようになってくれ

上田が出席した役員会で、経営陣のある幹部が口にした言葉だ。社名を前面に出すよりも、一歩引いて支えることで多くのファンを呼び込める——それはJリーグ・ジュビロ磐田での学びとして、経営陣にも浸透していた。

静岡ブルーレヴズの設立会見は6月23日に行われた。新会社の山谷拓志社長は、チーム名について「ジュビロは商標的に使えなかったのか？」と問われて答えた。

「私たちの独自性を持ってリブランディングしていこうと、あえて違う名前にした」

新チーム名のブルーはヤマハ発動機のチーフカラー、レヴズはヤマハ発動機が掲げる「情熱をかきたてる」意味のキャッチフレーズから。そして地名の「静岡」。山谷は言った。

「静岡は東西に長くて、大きな川が富士川、安倍川、大井川、天竜川とあって、川を越えるたびに人の気質も文化も変わる。Jリーグのチームも4つある。ジュビロと名乗ると『西のチームだな』と思われてしまう。そうではなく、オール静岡のチームにしたいんです」



HISTORY

- 1982 ヤマハ発動機ラグビー同好会発足
- 1984 ヤマハ発動機ラグビー部創部
- 1991 関西社会人Bリーグに昇格
- 1994 全国社会人大会初出場
- 1997 関西社会人Aリーグ昇格
- 2002 関西社会人Aリーグ優勝
- 2003 ヤマハ発動機（ジュビロ）としてトップリーグに参加
- 2004 トップリーグ3位
- 2005 トップリーグ2位、カップ戦準優勝
- 2007 トップリーグ3位
- 2011 入替戦に勝利し、トップリーグ残留を決める
- 2015 トップリーグプレーオフ準優勝、日本選手権優勝
- 2016 トップリーグプレーオフ3位
- 2017 トップリーグ2位
- 2018 トップリーグプレーオフ3位
- 2021 静岡ブルーレヴズと改称し、株式会社設立



⑤クラウドファンディングで集めた熱海市土石流被災者への義援金152万310円を寄付する山谷社長(中)と五郎丸CRO(右)。⑥大久保グラウンドでのトレーニング。⑦⑧レガシー事業として県内の学校を訪問し、ラグビーの普及活動に努める選手たち

「おそろく3億は行きます。茨城ロボッツでは5年かけてやっと達成した額です(笑)。ただこれは静岡のポテンシャルを証明していると同時に、ラグビーの持つ力の反映だと思う」

営業先では、経営者の多くがあのアイルランド戦を生で観戦していたといい、そのときの興奮と感動を熱く語った。それを聞いて、山谷はラグビーの力を改めて感じた。ラグビーは簡単にできるスポーツではない。激しいコンタクト。80分走り続けるフィットネス。鍛え上げた体と技術でボールをつないで前進する姿に感動が生まれる。試合数は少ないが、裏返せばひとつの試合の価値は高い。経営者はそこに投資する対価を見いだすのだ。

山谷が掲げる目標は「世界一のクラブ」だ。「世界で最も経営規模が大きいフランスのトップクラブの予算が40数億円くらい。我々も10年後、2032年にはその規模に行きたい」

ヤマハ発動機からは広告宣伝費として、従来の強化費に相当する額を援助してもらおう。社員選手には業務委託として出向してもらい、給与の一部はチームが負担する。選手を全員プロ化しないのは「ヤマハがラグビー出身の社員を求めているんです。これまでも海外事業で活躍しているOBがたくさんいます」と山谷は説明する。事実、前出の上田もブラジル、米国に赴任して成果をあげている。

一方で、チケットやグッズ販売、スポンサー収入などで自分たちで稼げる部分は開拓する。「もちろん、勝つための努力は続けます。そうじゃないとスポーツビジネスは成立しない。フロントは、結果として負けることがあっても応援してもらえるように努力はするけれど、チームには勝利を求め続けます」

そう言っていて、山谷は付け加えた。「静岡には日本一の富士山がありますからね。日本一を目指すのは我々の宿命なんです」

「おそろく3億は行きます。茨城ロボッツでは5年かけてやっと達成した額です(笑)。ただこれは静岡のポテンシャルを証明していると同時に、ラグビーの持つ力の反映だと思う」

「おそろく3億は行きます。茨城ロボッツでは5年かけてやっと達成した額です(笑)。ただこれは静岡のポテンシャルを証明していると同時に、ラグビーの持つ力の反映だと思う」

営業先では、経営者の多くがあのアイルランド戦を生で観戦していたといい、そのときの興奮と感動を熱く語った。それを聞いて、山谷はラグビーの力を改めて感じた。ラグビーは簡単にできるスポーツではない。激しいコンタクト。80分走り続けるフィットネス。鍛え上げた体と技術でボールをつないで前進する姿に感動が生まれる。試合数は少ないが、裏返せばひとつの試合の価値は高い。経営者はそこに投資する対価を見いだすのだ。

山谷が掲げる目標は「世界一のクラブ」だ。「世界で最も経営規模が大きいフランスのトップクラブの予算が40数億円くらい。我々も10年後、2032年にはその規模に行きたい」

ヤマハ発動機からは広告宣伝費として、従来の強化費に相当する額を援助してもらおう。社員選手には業務委託として出向してもらい、給与の一部はチームが負担する。選手を全員プロ化しないのは「ヤマハがラグビー出身の社員を求めているんです。これまでも海外事業で活躍しているOBがたくさんいます」と山谷は説明する。事実、前出の上田もブラジル、米国に赴任して成果をあげている。

一方で、チケットやグッズ販売、スポンサー収入などで自分たちで稼げる部分は開拓する。「もちろん、勝つための努力は続けます。そうじゃないとスポーツビジネスは成立しない。フロントは、結果として負けることがあっても応援してもらえるように努力はするけれど、チームには勝利を求め続けます」

そう言っていて、山谷は付け加えた。「静岡には日本一の富士山がありますからね。日本一を目指すのは我々の宿命なんです」

「おそろく3億は行きます。茨城ロボッツでは5年かけてやっと達成した額です(笑)。ただこれは静岡のポテンシャルを証明していると同時に、ラグビーの持つ力の反映だと思う」

RED DOLPHINS HINO RUGBY FOOTBALL CLUB

[企業経営とラグビーの価値①]

下義生 日野自動車代表取締役会長

「創業の地『日野』に ラグビーを通して恩返しをしたい」

LEAGUE ONE
新時代到来!

栗田シメイ=文
text by Shimei Kurita

日野グループは、来年で創業80周年を迎えます。そのうちの70年間、ラグビー活動を続けてきました。当然我々にとっても、これだけのチームを持つのは相当な価値が必要となります。ただ、私は経営的な観点からもそれ以上の効果がある、と踏んでいます。「チームが1つになる」という中心的なメッセージの発信者として、レッドドルフィンズの企業経営への貢献は大きい。自動車業界は製造から販売までいくつもの工程があり、チームで戦っていく必要があります。現場を含めたチームのビジョンがいかにも明確で、その中で一人ひとりがどんな役割を果たすか。1人のスーパースターが引つ張っていくということはほとんどない。ラグビーも1人ではトライはとれないし、守れないですよ。いかに周りとの運動性を高めるか、という部分に競技の本質がある。自動車産業でラグビーに参入する企業が多いのは、そうした親和性が大きいと思いますし、弊社も同じです。

それ以上に大きいのは地域貢献です。特に私どもは、「日野」という土地の名前を頂いています。地域に愛される会社でないと何十年も企業活動はできません。共に歩んできたからこそ、今度はラグビーを通じて地域に恩返しが出来ないかと考えています。有り難いことにウチの選手たちもその理念に共感し、積極的に学校や福祉施設、お祭りなどを訪れ、清掃活動にも参加してくれている。

もちろん強いチームになりたいし、そこを目指していかねばいけない。しかし、それと同じくらいそれ以上に、レッドドルフィンズの選手、コーチ、我々経営陣も含めて、地域への恩を返していく活動を継続することが大事だと捉えています。その核となるのが、ラグビーでもあるのです。

18年に悲願だったトップリーグ昇格を機に、チーム名から日野自動車の名前を外しました。結果的にリーグで企業名がない初のチームとなりましたが、これは一にも二にも地域と一体になりたい、という強い思いからです。日野自動車レッドドルフィンズだと、ちょっと長いというのがありますが(笑)。

現在は日野の本社にあった工場も大半は古河に移転し、跡地になっています。販売台数に関しては、国内より圧倒的に海外が占める割合が多い。だからこそあえて、世界中に散らばる約3万5000人のチーム日野のメンバーに、「聖地」として創業の地である日野に思いを馳せて欲しい、という願いがあります。そんなメッセージを発信する活動の中で、レッドドルフィンズが存在はアイコンとしても重要と位置づけています。

日本企業は今、競争協調の時代で、弊社もトヨタ自動車、ライバルのいすゞ自動車とチームを組んで新たな商用車の開発などの協業に取り組んでいます。ラグビーも同じで協業して裾野を広げ、本当に強い日本のチームを作っていくことが求められている。そんな時勢だからこそ理念を大切にしたいし、地域への還元も深めていくべきだと考えています。

競技も畑も異なりますが、Jリーグ「V・フアレン長崎」のチーム運営は参考にすべき点が多い。前社長の高田明さん自らが地域の方と宣伝活動を行い、商店街と様々な仕掛けをされてきました。1つの地域の中で、プロスポーツが核となることを実践しているモデルだと思えます。我々も目指す所は同じでありたい。新しいラグビーの力で、日野を始めとし、隣接する八王子市や周辺地域に貢献することはこれからも一貫して続けていきます。

今でも忘れられないのが、18年の入替戦での光景です。私は頻繁に会場に行きますが、あの時は役員だけでバスが出るほど多くの人が集まった。社員が団結して声援を送り、昇格が決まった瞬間は興奮し盛り上がりすぎたくらいで(笑)。NITジャパンラグビーリーグワン2022ではデイビジョン2からのスタートとなりますが、来年にはもう一度あの感動を味わいたいですね。

しも・よしお 1959年1月28日生まれ。早稲田大学理工学部卒業後、日野自動車に入社。米国販売子会社社長、副社長、本社専務を経て、17年に代表取締役社長、21年に代表取締役会長に就任。ラグビー、サッカーを愛する



TOYOTA INDUSTRIES CORPORATION SHUTTLES AICHI

【企業経営とラグビーの価値②】

佐々木卓夫

豊田自動織機取締役副社長

「選手たちの闘争心、戦う姿勢こそ 会社や地域を元気にする貴重な財産」

LEAGUE ONE 新時代到来!

戸塚啓=文
text by Kei Totsuka

シャトルズは1984年に創部し、40年近く活動しています。会社が順風の時も逆風の時も、一貫して社員に元氣、勇氣、一体感を与える役割を担ってきました。

特に会社が厳しい時ほど、その存在価値は高まります。選手たちは「こんな厳しい時にスポーツをやるんだ」と奮い立ち、その姿を見た社員が「自分も頑張らなければ」という気持ちになる。経営者が言葉で社員を鼓舞するよりも、選手たちが必死になる姿は社員の気持ちに直に響きます。ラグビーは15人それぞれが役割を担い、ボールを後工程につなぎながらトライを狙うスポーツ。様々な工程を経て製品を生み出す「ものづくり」と、どこか形が近いところも、私たちに勇氣をくれる理由でしょう。

また、当社はCSR活動の柱の一つに、「地

域社会への貢献と共生」を掲げています。リーグワンの「地元の結束、一体感の醸成」というミッションにも共通するもので、シャトルズは以前から地域貢献を重視してきました。

企業は社員や地域の皆さんを含めて、様々なステークホルダーに「ここに居てもらいたい」「応援したい」と思ってもらえなければ、長期にわたって存続することはできません。私たちは刈谷市や大府市をはじめとして愛知県内の6つの市と1つの郡に工場を持ち、そこには社員とその家族はもちろん取引先の社員さん、親戚、友人などもたくさん住んでいます。地域との接点が非常に濃く、スポーツを含めた企業活動と地域との良好な関係を築けなければ、事業そのものが成り立たないのです。皆さんに「応援したい」と思ってもらうには、まずもって結果を出さなければなりません。勝つことが第一ですが、問われるのはむしろ「負けかた」です。

ひたむきさや最後まで闘志を失わない姿が大切で、勝利を逃してもなお拍手を送りたくなくなるような戦いが、観ている人たちに元氣や明日への活力を与えます。

昨シーズンは3試合だったホームゲームが、新リーグでは5試合に増えます。地元のファンに生で試合を観てもらう機会が増えるのは大変うれしい。リーグワンではチームが試合を運営するので、これまでと違う取り組みが可能になります。新型コロナウイルスの感染予防策をしながら、来場者の皆さんと選手が触れ合うなど、地域貢献につながるイベントを考えたいです。

熱い戦いを見せるのと同時に、今まで以上に地域に愛されるチームとなるため、地域に根ざした活動やラグビーの普及に積極的に取り組んでいます。'05年から刈谷市で始めている幼児と小学生のラグビースクールは、'20年から中学生も対象に加えました。現在は約150人が在籍しており、大学の強豪で活躍する選手も出てきています。今年からは、大府市と一緒に小学校の授業にラグビー教室を組み込むことを始めました。リーグワンのミッションには「社会に貢献する人材の育成」、『日本ラグビーの世界への飛躍』も掲げられており、シャトルズもラグビー人口増加やファン拡大につながる草の根の活動を継続していきます。

こうした活動を通して地域の皆さんにシャトルズを応援してもらうことは、企業活動への理解にもつながります。NTTジャパングビーリーグワン2022では、デイビジョン3からのスタートとなりますが、チームは悔しさをバネに入替戦に勝ってデイビジョン2、1へと駆け上がり、「3年後に日本一になる」という高い目標を掲げています。身の丈に合わないと言われるかもしれませんが、徳野(洋一)ヘッドコーチ以下スタッフと選手たちは本気です。チームの本気な姿勢は社員やファンの皆さん、すべてのステークホルダーに支持されると信じています。リーグ戦に加え、デイビジョン横断的なカップ戦の開催もお願いしたい。ぜひ実現いただき、シャトルズがデイビジョン1、2のチームと互角以上に渡り合う姿をお見せしたいです。

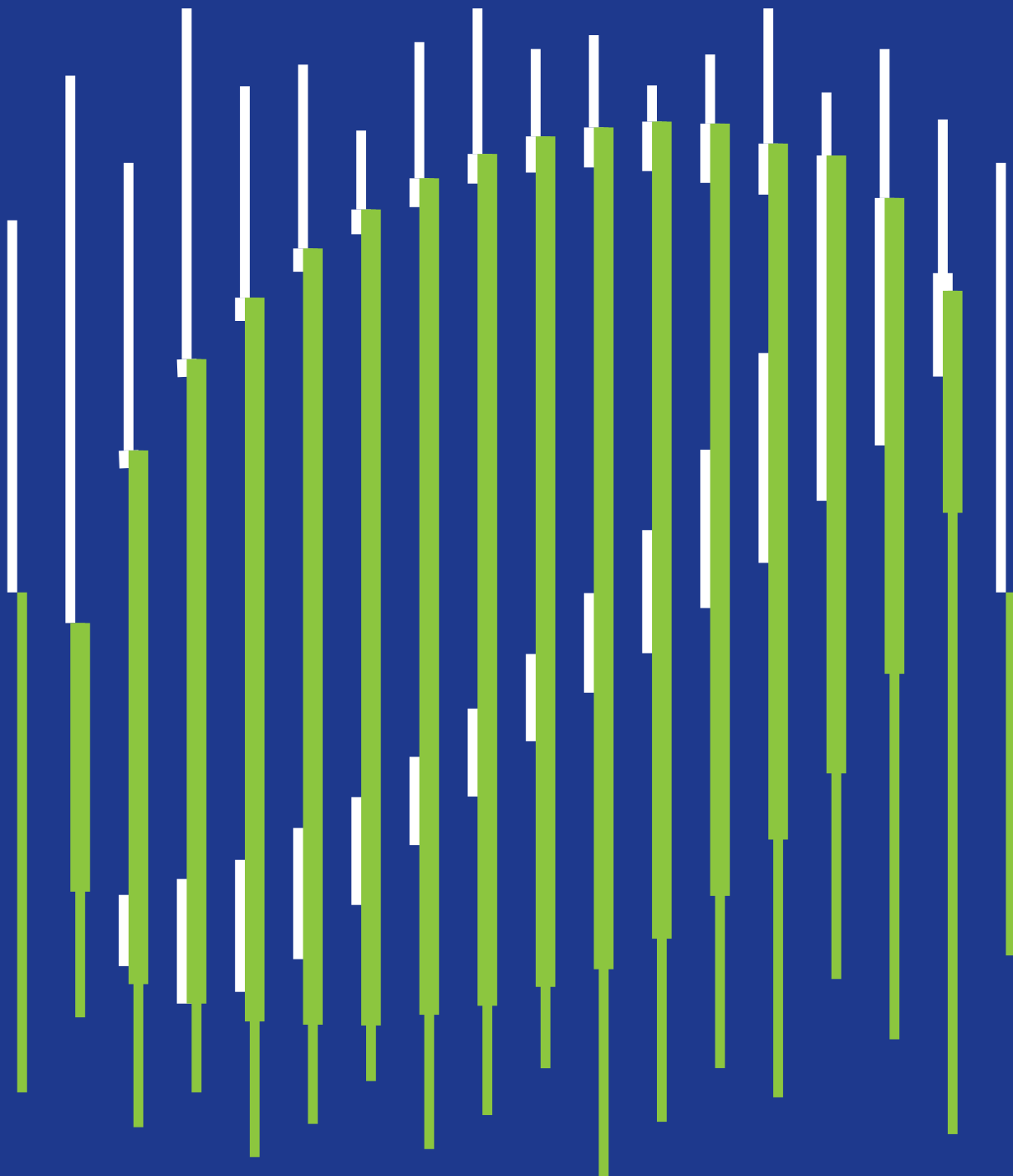
ささき・たくお 1956年12月3日生まれ。東京大学経済学部卒業後、トヨタ自動車工業に入社。豪州勤務を経て、11年トヨタファイナンシャルサービス代表取締役社長に就任。18年から現職。ラグビー部シャトルズ顧問も兼任



Yumi Hattori



豊田自動織機シャトルズ愛知



日本通運株式会社は JAPAN RUGBY LEAGUE ONE との 事業共創パートナー契約を締結しました。

日本通運は JAPAN RUGBY LEAGUE ONE との事業共創を通じて、
双方の事業アセットを活用した新しい事業価値と社会価値の創出を目指すとともに、
スポーツイベント企画事業において存在感のあるロジスティクスカンパニーとなるべく
サービスの拡大に努めます。



We Find the Way

NIPPON EXPRESS ホールディングス始動 ジャパンラグビー リーグワンと 新たな挑戦へ

2022年1月7日に開幕する「NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2022」。日本通運は「事業共創パートナー」の1社に名を連ねラグビー新リーグに協力、新たな価値創造に挑む。新リーグにかける日本通運の思いや狙いとは――。齋藤充社長に聞いた。

日本通運とラグビーの 深いかかわり

直近で日本通運とラグビーとのつながりは「ラグビーワールドカップ2019日本大会(W杯)」ですね。物流面で大会運営に協力させていただきました。北は北海道から南は九州まで各地での試合開催に合わせ、トレーニング機器や国旗・チーム旗、大会運営備品やメディカル用品、飲料などの運搬を担いました。大会期間中には大型の台風に見舞われるなどイレギュラーな事態にも直面しましたが、おかげさまでスムーズな運営に貢献できました。また、ラグビーファンにはおなじみのチームだと思えますが、流通経済大学や



流経大付属柏高校は、日本通運が設立母体の学校法人日通学園が運営しています。それぞれ関東大学ラグビーリーグ戦1部で過去3回の優勝経験や、強豪校が集う「花園」が舞台の全国高等学校ラグビーフットボール大会の常連校として知られています。こうしたラグビーとのかかわりから、今回のリーグワン創設の精神に賛同し、事業共創パートナーとして参画させていただくことと致しました。

リーグワンと、 新たな価値創造に挑む

リーグワンは来年1月に開幕しますが、ほぼ時を同じく日本通運も新たな転機を迎えます。1月4日に「NIPPON EXPRESSホールディングス」

を設立して持株会社体制へと移行します。合わせて、新ブランドの「NX」を立ち上げ、「日本通運グループ」から「NXグループ」になるとともに、新しいブランドシンボルも導入します。フレッシュグリーンの「NX」の文字の下にネイビーブルーで「NIPPON EXPRESS」とあしらったロゴマークを国内外のグループ各社が共通して使用し、グローバル展開や物流DX(デジタルトランスフォーメーション)など次世代をにらんだ新たな取り組みを始めます。

物流の仕事とラグビーは似た部分が多いと感じています。ラグビーはメンバー15人がそれぞれの役割を担いながら、互いに緊密に連携し、楕円形のボールを何とかつないでトライを目指すスポーツです。19年のW杯で日本代表が掲げた「ONE TEAM」というスローガンは、まさにそれを象徴しています。

日本通運の企業メッセージ「We Find the Way」には、お客

様の思いを実現させるために常に最善の方法を見だし、やり遂げる強い意志と自信を込めています。国内外を問わず現場にいる社員が、お客様のために試行錯誤や創意工夫を重ね、ひたむきに物流を担う姿勢はラグビーの精神である「One for all, All for one」と共通するものがあると思っています。

国や民族の多様性を認め、勝利に向けて一丸となって戦うラグビー日本代表のように、互いに尊重し合う姿勢は日本通運が目指す姿とも重なります。リーグワンが目指すのは「世界基準のラグビー」であり「世界最高峰のリーグ」。一方、日本通運が目指すのは「グローバル市場で存在感を持つロジスティクスカンパニー」です。共に世界に立ち向かうというベクトルは共通しています。リーグワンと一緒にNXグループも大きく飛躍したいと思います。

物流業界では今「サステナビリティ(持続可能性)」や「ESG(環境・社会・企業統治)」が大きな経営課題として挙がっています。そのためにも会社として無人倉庫の実用化やDXによる脱炭素に向けた取り組みなどを急ピッチで進め、社会的課題の解決に努めてまいります。同時に陸海空の全ての輸送モードを駆使した既存の物流事業で培ってきたノウハウやグローバルでの当社のネットワークも駆使できると考えています。リーグワンの共創パートナーの1社として、新たな物流プラットフォームの構築や、お互いのアセットを活用した事業価値や社会価値の創出などを通し、リーグワンを盛り立てるロジスティクスカンパニーを目指します。



埼玉パナソニックワイルドナイツ

TEAM DATA

①1960年 ②最終順位1位/W1位(6勝1分) ③さくらオーバルフォート/埼玉県熊谷市上川上844
④埼玉県 ⑤飯島均 ⑥ロビー・ディーンズ ⑦パナソニック

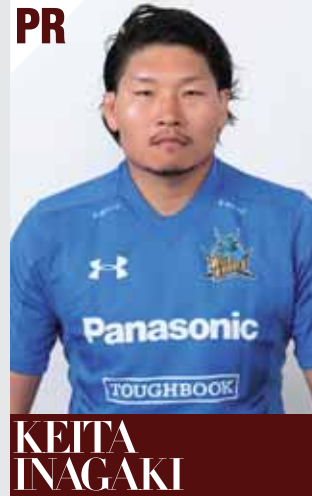
充実の強力メンバーを揃え 新旧リーグ連覇への視界は良好。

昨季は鉄壁守備を土台として「最後のトッリーグ」で5度目の頂点。優勝メンバーの大多数が残る戦力はリーグで一、二を争う。2021年秋の欧州遠征に招集された日本代表は稲垣啓太、松田力也など最多10人。ファンタジスタの山沢兄弟(兄・拓也/弟・京平)など各世代のトップが集結する。新外国人も強力で、エースの福岡堅樹が抜けた穴は豪州代表のマリカ コロインベテが埋める。堅守速攻のスタイルに必要なディフェンダーとしてジャッカルの名手ラクラン ポーシェも獲得した。2021年は移転先の埼玉県熊谷市にホテル併設の豪華新拠点が完成。磐石の体制で新旧リーグをまたいだ連覇を狙う。

GMIが語る、我がチームのココが推し!

60年の歴史がある群馬県太田市を離れ、2021年にチームの本拠地を埼玉県熊谷市の「さくらオーバルフォート」に移転。新しいクラブハウス、眩しいばかりの緑の芝生の新グラウンド、ホテルも隣接した素晴らしい環境の中でラグビーを中心としながら、スポーツを通じた健康促進、地域の一体感を醸成する拠点にしたいと思っています。クリニックも近隣に誘致する計画もあります。ホテルは研修やクラブ活動の合宿にも使えます。日本代表を含め各国代表選手が揃った戦力はさらに充実。初代王者を狙います。

PR



KEITA INAGAKI

PICKUP PLAYER

稲垣啓太

1990年6月2日、新潟県生まれ。新潟工高、関東学院大を経て2013年にパナソニックに加入、新人王とベスト15(以降7季連続)を獲得。2014年、日本代表に初選出。W杯2015・2019に出場。日本代表キャップ38。186cm、116kg

HOST GAME SCHEDULE

第2節 1月16日(日)
vs. グリーンロケッツ東葛 [熊谷]
第3節 1月23日(日)
vs. 横浜キヤノンイーグルス [熊谷]
第6節 2月19日(土)
vs. 東芝ブレイルーバス東京 [熊谷]
第7節 2月26日(土)
vs. 東京サンゴリアス [熊谷]
第10節 3月19日(土)
vs. ブラックラムズ東京 [熊谷]
第12節 4月9日(土)
vs. シャイニングアークス東京ベイ浦安 埼玉県内
第13節 4月16日(土)
vs. コベルコ神戸スティーラーズ 埼玉県内
第16節 5月7日(土)
vs. クボタスピアーズ船橋・東京ベイ 埼玉県内

クボタスピアーズ船橋・東京ベイ



TEAM DATA

①1978年 ②最終順位3位/R3位(5勝2敗) ③クボタ船橋グラウンド/千葉県船橋市栄町2-16-1
④東京都江戸川区、中央区、千葉県市川市、船橋市、千葉市、市原市、成田市 ⑤石川充 ⑥フラン・ルディケ ⑦クボタ

CTB SO



HARUMICHI TATEKAWA

PICKUP PLAYER

立川理道

1989年12月2日、奈良県生まれ。天理高、天理大を経て2012年にクボタに加入。同年、日本代表に初選出。その後は日本代表不動のCTBとしてW杯2015に出場。2016-2017年はベスト15。日本代表キャップ55。180cm、93kg

HOST GAME SCHEDULE

第4節 1月29日(土)
vs. グリーンロケッツ東葛 [江戸川]
第7節 2月26日(土)
vs. トヨタヴェルブリッツ [江戸川]
第8節 3月5日(土)
vs. 静岡ブルーレヴズ [江戸川]
第11節 3月27日(日)
vs. NTTドコモレッドハリケーンズ大阪 [新潟市陸]
第12節 4月9日(土)
vs. 横浜キヤノンイーグルス 大阪府内
第14節 4月23日(土)
vs. コベルコ神戸スティーラーズ 東京都内
第15節 5月1日(日)
vs. シャイニングアークス東京ベイ浦安 東京都内

スクラム、ラインアウトを武器に 悲願の初優勝を目指す。

昨季はチーム史上初の4強入り。名将フラン・ルディケHCのマネジメントが6季目で花開いた。メンバーに大幅な変更はないが、日本代表のヘル ウェ加入でFWの重量感は増した。昨季リーグ屈指の成功率だったスクラム、ラインアウトを武器に、強力FWが真っ向勝負する伝統スタイルで初の優勝を目指す。主力は日本代表の新主将になったピーター ラブスカフニ、南ア代表マルコム・マークスら。バックスも才能豊かで、豪州代表司令塔のバーナード・フォーリー、日本代表経験の豊富な立川理道、東京五輪7人制代表の合谷和弘もいる。熱狂的な「オレンジアーミー」と呼ばれるファンとの一体感も要注目だ。

GMIが語る、我がチームのココが推し!

強みはファンの皆さんを含めた一体感です。昨季の競技成績(初の4強)と施策の効果で結束がより強まりました。ステークホルダーの誇りとなるべく掲げたビジョン『Proud Billboard』を実現するため、SDGsをキーワードに地域活動を行っており、ホストエリアの東京都江戸川区とはリーグ初となるSDGs単独での連携協定を締結しました。定性的な活動も評価できるKPI(重要業績評価指標)を作り、継続的に事業運営力を発展させ、競技のみならず運営でもリーグ日本一を目指します。

コベルコ神戸スティーラーズ



TEAM DATA

①1928年 ②最終順位5位/W2位(6勝1敗) ③灘浜グラウンド/兵庫県神戸市東灘区御影浜町4
④兵庫県神戸市 ⑤福本正幸(チームディレクター) ⑥デーブ・ディロン ⑦神戸製鋼所



DAIKI HASHIMOTO

PICKUP PLAYER

橋本大輝

1987年2月7日、福岡県生まれ。九州国際大付高、京都産業大を経て2009年に神戸製鋼に加入。2012年から5季連続で主将を務め、今季5シーズンぶりに再任。2012年、日本代表に初選出。日本代表キャップ1。184cm、100kg

HOST GAME SCHEDULE

- 第1節 1月8日(土)
vs. シャイニングアークス東京ベイ浦安 [ユニバ](#)
- 第3節 1月22日(土)
vs. クボタスピアーズ船橋・東京ベイ [ノエスタ](#)
- 第4節 1月29日(土)
vs. 埼玉ワイルドナイツ [ユニバ](#)
- 第7節 2月26日(土)
vs. NTTドコモレッドハリケーンズ大阪 [ユニバ](#)
- 第9節 3月12日(土)
vs. ブラックラムズ東京 [ユニバ](#)
- 第11節 3月27日(日)
vs. 東芝プレイブルーバス東京 未定
- 第12節 4月10日(日)
vs. グリーンロケッツ東葛 [ユニバ](#)
- 第15節 5月1日(日)
vs. 横浜キヤノンイーグルス [ユニバ](#)

リーグ屈指の選手層で ふたたび黄金期を築きたい。

2018年度は15年ぶりに社会人王座を奪還したが、昨季は梅しいトップ8。平尾誠二らを擁して1988年度から日本選手権V7を達成した名門は、王座奪還を期している。国内外の一流が揃った選手層はリーグ屈指。日本代表には新加入のプロップ具智元ら5名が選ばれた。司令塔アロン・クルーデン、ベン・スミスは元N.Z代表の世界的スターだ。全ポジションに高いスキルを求めるハイレベルな全員ラグビーを志向しており、昨季の課題だった連携面は克服したい。2021年は室内練習場を備えたクラブハウスが完成し、心機一転。4季目を迎えた名将ウエイン・スミス総監督の下、ふたたび黄金期を築けるか。

TDが語る、我がチームのココが推し!

V7時代から「クリエイティブで面白いラグビーをしよう」が文化です。熱烈なファンに支えられており、今季定員500名のファンクラブ最上位会員は即日完売でした。2021年は、創部以来の地元である神戸市と連携協定を結び、今後は地下鉄の利用促進などPR活動を行なう予定。新クラブハウスも完成して再スタートです。元GMの平尾誠二さんは生前、地域密着型のチーム名として企業名を外した「神戸スティーラーズ」を提唱していました。リーグワンで平尾さんの意向が体现され、万感の思いです。



横浜キヤノンイーグルス

TEAM DATA

①1980年 ②最終順位5位/W5位(3勝3敗) ③キヤノンスポーツパーク/東京都町田市小野路町5290-1
④神奈川県横浜市/大分県(セカンダリー) ⑤永友洋司 ⑥沢木敬介 ⑦キヤノン

チーム一丸の全員ラグビーで さらなる上位進出に期待。

昨季は手腕に定評のある沢木敬介を新監督に迎えてチームの体質が変化し、終盤にも強いタフネスが加わった。準々決勝で敗れて8強に終わったが、優勝したパナソニックを相手に後半のスコアで上回っていた。今季は戦力が確実に増強。2021年の日本代表へ従来の田村優に加えて昨季加入のアマナキ・レイマフィ、今季加入のリアキ・モリが選ばれた。主力は国代表経験者が中心だが、永友洋司GMは「中心選手は全員」とチーム一丸を期待する。昨季勝率が低かったスクラムは要改善。日本代表の荒井康植をはじめ4人が争うスクラムハーフの定位争いにも注目だ。昨季築いた土台の上に常勝の文化を築けるか。

GMが語る、我がチームのココが推し!

最後まで観客席を立てないエキサイティングな試合ができるチームに成長中です。文化、習慣等の違いを問わず、誰もがハッピーになれる試合をショーとして届け、キヤノンの企業理念である「共生」をピッチでも体現します。勝つための努力だけでなく地域に認めてもらう努力、ホスピタリティマインドをチームに浸透させ、何度でも会場に足を運んでもらいたい。ホストエリアの横浜市では市内13チームで地域活性化を進める「横浜スポーツパートナーズ」に加盟。他競技とも共生し地域密着を推進します。



YUSUKE NIWAI

PICKUP PLAYER

庭井祐輔

1991年10月22日、兵庫県生まれ。報徳学園高、立命館大を経て2014年にキヤノンに加入。学生時代は高校日本代表、U20日本代表。2017年、日本代表に初選出。同年にはサンウルブズにも招集。日本代表キャップ10。174cm、95kg

HOST GAME SCHEDULE

- 第2節 1月15日(土)
vs. コベルコ神戸スティーラーズ [日産ス](#)
- 第4節 1月30日(日)
vs. シャイニングアークス東京ベイ浦安 [ニッパツ](#)
- 第5節 2月6日(日)
vs. クボタスピアーズ船橋・東京ベイ [ニッパツ](#)
- 第9節 3月12日(土)
vs. NTTドコモレッドハリケーンズ大阪 [秩父宮](#)
- 第10節 3月18日(金)
vs. トヨタヴェルブリッツ [秩父宮](#)
- 第11節 3月27日(日)
vs. 東京サンゴリアス [昭和電下](#)
- 第14節 4月23日(土)
vs. 埼玉ワイルドナイツ 未定
- 第16節 5月8日(日)
vs. グリーンロケッツ東葛 [昭和電下](#)

NTTコミュニケーションズ シャイニングアークス東京ベイ浦安



TEAM DATA

- ①1976年 ②最終順位9位 / R4位(3勝1分3敗) ③アークス浦安パーク / 千葉県浦安市高洲8-2-1
- ④千葉県浦安市及び周辺地域(調整中) / 宮城県仙台市(セカンドアリーナ) ⑤内山浩文 ⑥ロブ・ベニー ⑦NTTコミュニケーションズ

CTB



PICKUP PLAYER

シェーン・ゲイツ

1992年9月27日、南アフリカ生まれ。ミューアカレッジボーイズ高、キングスを経て2016年にNTTコミュニケーションズに加入。2019年にはサンウルブズに招集。今年5月、日本代表に初選出。日本代表キャップ1。183cm、95kg

HOST GAME SCHEDULE

- 第2節 1月15日(土) vs. クボタスピアーズ船橋・東京ベイ [秩父宮]
- 第3節 1月22日(土) vs. グリーンロケッツ東葛 [秩父宮]
- 第5節 2月5日(土) vs. 埼玉ワイルドナイツ [秩父宮]
- 第7節 2月26日(土) vs. 東芝ブレイブルーパス東京 [夢の島]
- 第9節 3月13日(日) vs. 静岡ブルーレヴズ [夢の島]
- 第11節 3月27日(日) vs. ブラックラムズ東京 [夢の島]
- 第13節 4月15日(金) vs. 横浜キャノンイーグルス [秩父宮]
- 第16節 5月8日(日) vs. コベルコ神戸スティーラーズ 未定

充実した戦力の連携を高めて「4強の壁」を突破したい。

2010年度に1部参入の新興チームだが、社会貢献や地域活動ではリーグを牽引する存在だ。2度の5位を経験しており「4強の壁」の突破が目下の目標。今季は在任5季で2度のチーム最高位5位を達成した元指揮官のロブ・ベニーを再招聘。多様なテクニックを駆使してボールを大きく動かすラグビーが信条。奇抜なプレーで観客を驚かせることも多い。戦力は充実しており、日本代表のシェーン・ゲイツをはじめ元スコットランド代表主将のグレイグ・レイドローらが在籍。日本代表のジェームス・ムーアなど新加入組との連携が鍵だろう。成長著しいスクラムはリーグ屈指の安定感。悲願の4強入りは叶うのか。

GMが語る、我がチームのココが推し!

勝利に価値を見出していた従来の企業スポーツをアップデートし、地域や社会課題との多面的なコラボレーションから強化を図る「企業スポーツ2.0」を目指します。運営面では選手スタッフの「おもてなし強化」のために浦安市内の株式会社オリエンタルランドさん、日本航空株式会社さんなどとパートナー協定を締結しました。チームのリソース、アセットに加えてグラウンド自体もオープンシェアしながら、ホスト地域の皆さんと多面的な価値を創造していきたい。ラグビー界のゲームチェンジャーであり続けます。



NECグリーンロケッツ東葛

TEAM DATA

- ①1985年 ②最終順位9位 / W8位(0勝7敗) ③NEC我孫子グラウンド / 千葉県我孫子市日の出1131
- ④千葉県我孫子市、柏市、松戸市、流山市、野田市、鎌ヶ谷市、印西市、白井市 ⑤梶原健(代表) ⑥ロバート・テイラー ⑦日本電気

新首脳陣と多くの即戦力を迎え 大胆な戦力強化が進行中。

前リーグ初期は日本選手権を連覇した強豪だったが近年は低迷。「古豪」と呼ばれ久しかったが、リーグワン参入を契機にバレーボールと共にビジネス化に舵を切る大英断。改革に伴い大胆な戦力強化が進行中。Bリーグ「千葉ジェッツふなばし」の創設者である新代表の梶原健は、元豪州代表監督のマイケル・チェイカを新ディレクターに招き、所属選手の約3分の1にあたる15名強の即戦力を入れた。日本代表経験のある田中史朗ら国内の新加入組がモチベーターとなり昨季1勝に終わったチームの体質改善が進行中。スタイルは攻撃回数で圧倒する泥臭いアタッキングラグビー。劇的なV字回復で古豪からの脱皮を目指す。

代表が語る、我がチームのココが推し!

2021年にリブランディングを実施しました。再定義した理念、ビジョンに基づき一新した新エンブレムはチーム、サポーター、コミュニティの一体化を表現しています。ホストエリアでは「コネクト」をコンセプトに地域のコミュニティ HUBへ。スポンサー獲得は着実に進んでいますが、デジタルを駆使して8試合あるホーム開催日以外の357日の収益化も進めていきます。16人の新戦力が加わり競争激化。泥臭くアタックし続ける挑戦的なラグビーを展開し、ピッチでも理念、ビジョンを表現します。



PICKUP PLAYER

吉廣広征

1985年4月2日、東京都生まれ。桐蔭学園高、筑波大を経て2008年にNECに加入。今年も安定感抜群のベテランとして活躍が期待されつつ、会社ではスポーツビジネス推進本部でプロモーション担当を務めている。180cm、89kg

HOST GAME SCHEDULE

- 第1節 1月8日(土) vs. 横浜キャノンイーグルス [柏の葉]
- 第5節 2月6日(日) vs. コベルコ神戸スティーラーズ [柏の葉]
- 第6節 2月20日(日) vs. 東京サンゴリアス [柏の葉]
- 第7節 2月26日(土) vs. 静岡ブルーレヴズ [柏の葉]
- 第11節 3月27日(日) vs. トヨタヴェルブリッツ [柏の葉]
- 第13節 4月17日(日) vs. クボタスピアーズ船橋・東京ベイ 千葉県内
- 第14節 4月24日(日) vs. シャイニングアークス東京ベイ浦安 千葉県内
- 第15節 5月1日(日) vs. 埼玉ワイルドナイツ 千葉県内

DIVISION 1 Conference B



東京サントリーサンゴリアス

TEAM DATA

①1980年 ②最終順位2位/R1位(7勝0敗) ③サントリー府中スポーツセンター/東京都府中市是政6-22
④東京都、港区、府中市、調布市、三鷹市 ⑤田中澄憲 ⑥ミルトン・ヘイグ ⑦サントリーホールディングス

健在の超攻撃的スタイルで 目指すはリーグ初代王者。

全局面から得点を狙う超攻撃的スタイル「アグレッシブ・アタッキングラグビー」は健在。準優勝した昨季はトライ数など攻撃系データで軒並みトップだった。国内外のスター選手が集結する選手層は重厚だ。2021年秋の日本代表にスクラムハーフの流大や齋藤直人、センター中村亮士など8人を送り出した。世界一の司令塔といわれるNZ代表ボーデン・バレットは1季で退団したが、同代表から快足BKダミアン・マッケンジーが加入。攻撃力の増大は必至だが、2017年度以来の優勝には反則数など守備面の精度向上が欠かせない。前リーグで優勝5回、準優勝5回の強豪は今季も有力な優勝候補だ。

GMIが語る、我がチームのココが推し!

どこからでも勇敢に攻撃するチャレンジングなラグビーで、創業精神「やってみなはれ」のDNA、サントリーらしさを表現します。仕事とラグビーの両立という文化が根づいており、社員選手は得意先、数字の責任を持ち、グラウンド内外で人間性を鍛えています。2021年、チームをプロフィットセンターに変えるべくサントリーホールディングス直下に「スポーツ事業推進部」が新設されました。飲料・食品メーカーとして試合会場の飲食には徹底的にこだわり、ラグビー以外にも楽しめる空間を演出します。

FL
No.8



NAOKI
OZAWA

PICKUP PLAYER

小澤直輝

1988年10月8日 神奈川県生まれ。桐蔭学園高、慶應義塾大を経て2011年にサントリーに加入。2017年、日本代表に初選出。現日本代表候補では珍しい社員選手として、会社では営業を担当。日本代表キャップ4。181cm、102kg

HOST GAME SCHEDULE

- 第1節 1月8日(土)
vs. 東芝ブレイブルーバス東京 [味スタ]
第2節 1月16日(日)
vs. トヨタヴェルブリッツ [味スタ]
第8節 3月4日(金)
vs. コベルコ神戸スティーラーズ [秩父宮]
第9節 3月11日(金)
vs. クボタスピアーズ船橋・東京ベイ [秩父宮]
第10節 3月20日(日)
vs. シャイニングアークス東京ベイ浦安 [秩父宮]
第12節 4月9日(土)
vs. NTTドコモレッドハリケーンズ大阪 東京都内
第13節 4月17日(日)
vs. 静岡ブルーレヴズ [秩父宮]
第14節 4月24日(日)
vs. ブラックラムズ東京 [秩父宮]

トヨタヴェルブリッツ

TEAM DATA

①1941年 ②最終順位3位/R2位(6勝1敗) ③トヨタスポーツセンター/愛知県豊田市保見町井ノ向57-230
④愛知県豊田市、名古屋市、みよし市 ⑤後藤彰友 ⑥サイモン・クロン ⑦トヨタ自動車



SH
KAITO
SHIGENO

PICKUP PLAYER

茂野海人

1990年11月21日、大阪府生まれ。江の川高、大東文化大を経て2013年にNECに加入。2016年、日本代表に初選出。2017年にトヨタに加入。W杯2019メンバー。トヨタでは2020年から共同主将。日本代表キャップ12。170cm、75kg

HOST GAME SCHEDULE

- 第1節 1月9日(日)
vs. 静岡ブルーレヴズ [豊田ス]
第3節 1月22日(土)
vs. NTTドコモレッドハリケーンズ大阪 [豊田ス]
第5節 2月5日(土)
vs. ブラックラムズ東京 [パロ瑞穂ヲ]
第6節 2月19日(土)
vs. コベルコ神戸スティーラーズ [パロ瑞穂ヲ]
第8節 3月5日(土)
vs. シャイニングアークス東京ベイ浦安 [パロ瑞穂ヲ]
第9節 3月12日(土)
vs. 埼玉ワイルドナイツ 愛知県内
第12節 4月10日(日)
vs. 東芝ブレイブルーバス東京 [長良川陸]
第16節 5月7日(土)
vs. 東京サンゴリアス 愛知県内

多彩かつ強烈なメンバーで 初の日本一を狙う。

戦力充実で初の日本一を狙う。2021年秋の日本代表にチーム共同主将の姫野和樹、茂野海人に加えて、浅岡俊亮、秋山大地、高橋汰地が参加。フランカーの古川聖人などその他若手も成長著しい。後藤彰友GMも控え組の成長について「順調に底上げが進んでいる」と手応えアリ。新加入の大家は2019年世界最優秀選手の南ア代表ピーター・ステフ・デュトイ。伝統である大型FWの推進力は増大傾向にある。バックスも南ア代表のウィリー・ルルーらがおり決定力が高い。トップレフリーであるスクラムハーフ滑川剛人の知見は規律向上にも活きるだろう。多彩かつ強烈なメンバーが噛み合えば頂点が見えてくる。

GMIが語る、我がチームのココが推し!

ファンの心を動かすラグビーで世界一のクラブを目指します。日本代表や海外リーグに選手を常に輩出すると共に、国内外で活躍できるグローバルリーダーも育成したい。平均年齢24、5歳の選手たちは成長に貪欲で、応援してくれる方への感謝を忘れず、自分たちが掲げた初代王者という目標に向かって努力しています。運営ではホームゲームは常に満員を目指し、快適かつアットホームな活気溢れるスタジアムを提供します。カーボンニュートラルやSDGsなどの取り組みを通じた地域密着も進めています。



NTTドコモレッドハリケーンズ大阪

TEAM DATA

①1993年 ②最終順位5位/W3位(4勝3敗) ③南港グラウンド/大阪府大阪市住之江区南港北1-9-9
④大阪府大阪市 ⑤下沖正博 ⑥ヨハン アッカーマン ⑦NTTドコモ

驚異的な守備力を土台に 8強の先を見据える。

長らくリーグ下位にいたが、昨年就任した指揮官のヨハン アッカーマンHCが選手の意識改革に成功し練習の質が変化。開幕3連勝、プレーオフでの8強入りという「ドコモ旋風」を巻き起こした。新戦力は神戸から移籍のナエアタ ルイ、優秀なゴールキッカーでもある南ア代表のエルトン ヤンチースが目玉。得点力増が見込める補強を行なった。FWは2019年W杯日本代表のヴィンビー ファンデルヴァルトなど愚直な仕事人が多い。明大卒のルーキー繁松哲大も有望株。躍進を演出した驚異的な守備力を土台として、引き続き全エリアからの積極的なアタックで8強の先を狙う。上位定着へ真価が問われるシーズンだ。

GMIが語る、我がチームのココが推し!

ホーム地域での清掃活動など地域活動を地道に行なってきました。青少年育成では小学校6年生対象のラグビー大会「ドコモカップ」が13年目、アカデミーが5年目を迎えます。意欲的な挑戦もチームカラーで、アンバサダーに地元大阪の地域アイドルを起用し、2021年は日本ラグビー界で初めて「TEAMMATES」事業に取り組み、長期療養児の小学1年生がチームメイトになりました。今後も革新的な挑戦を続けることで、スポーツと社会に新風を起こし、新しいエンゲージメントを生み出していきます。



PICKUP PLAYER

ローレンス エラスマス

1993年6月14日、南アフリカ生まれ。ハールス ホンテイン高、ヨハネスブルグ大、ゴールデン・ライオンズ、ライオンズを経て2017年にNTTドコモに加入。2021年から主将を務める。将来的に日本代表入りを目指す。200cm、123kg

HOST GAME SCHEDULE

- 第1節 1月9日(日)
vs. ブラックラムズ東京 [ヨドコウ]
- 第2節 1月15日(土)
vs. 東芝ブレイルブルーパス東京 [ヤンマー]
- 第5節 2月6日(日)
vs. 東京サンゴリアス [ヨドコウ]
- 第6節 2月20日(日)
vs. シャイニングアークス東京ベイ浦安 [ヤンマー]
- 第8節 3月5日(土)
vs. 埼玉ワイルドナイツ [ヤンマー]
- 第10節 3月19日(土)
vs. グリーンロケッツ東葛 [ヤンマー]
- 第13節 4月16日(土)
vs. トヨタヴェルブリッツ 大阪府内
- 第15節 5月1日(日)
vs. 静岡ブルーレヴズ 大阪府内

リコーブラックラムズ東京

TEAM DATA

①1953年 ②最終順位5位/W4位(3勝4敗) ③リコー総合グラウンド/東京都世田谷区宇奈根1-5-1
④東京都、世田谷区 ⑤西辻勤 ⑥ピーター・ヒューワット ⑦リコー



PICKUP PLAYER

武井日向

1997年6月17日、栃木県生まれ。國學院栃木高、明治大を経て2020年にリコーに加入。大学時代にはジュニア・ジャパン、U20日本代表に選出された。加入2年目ながら今年7月からリコーの主将に就任した。171cm、96kg

HOST GAME SCHEDULE

- 第2節 1月16日(日)
vs. 静岡ブルーレヴズ [駒沢]
- 第4節 1月30日(日)
vs. 東京サンゴリアス [秩父宮]
- 第6節 2月19日(土)
vs. クボタスピアーズ船橋・東京ベイ [駒沢]
- 第7節 2月27日(日)
vs. 横浜キヤノンイーグルス [駒沢]
- 第8節 3月6日(日)
vs. グリーンロケッツ東葛 [秩父宮]
- 第13節 4月16日(土)
vs. 東芝ブレイルブルーパス東京 [秩父宮]
- 第15節 4月30日(土)
vs. トヨタヴェルブリッツ [秩父宮]
- 第16節 5月7日(土)
vs. NTTドコモレッドハリケーンズ大阪 [秩父宮]

信頼関係から生まれる守備力で 接戦に勝利したい。

長く続いた低迷期を脱し、2016年からトップ8を維持している。最大の特徴はチームを「ファミリー」と呼ぶ一体感で、信頼関係から生まれる守備力で格上相手に接戦を演じる。昨年8試合中5試合が7点差以内だった「名勝負メイカー」だ。戦力は若返りが進行中。主将は元明大主将で2年目の武井日向。司令塔は22歳のアイザック・ルーカスが有力。24歳の笹川大五、21歳のメイン平なども代表を狙える逸材だ。新加入のマイケル・ストーバークは即戦力だろう。代表選手が少ないことは連携強化にはむしろプラス。従来のFWスタイルに有能なバックスを融合させ、接戦を勝利するトップチームに進化したい。

GMIが語る、我がチームのココが推し!

本当に温かい家族のようなチームです。スター選手になれる有望な若手が多く、ぜひ「原石」が「宝石」に変わっていく過程を楽しんでください。地域活動では連携協定を結んだ世田谷区と綿密に連携が取れており、従来のラグビー教室をはじめ、健康教室、医療的ケア児への募金活動、ふるさと納税記念品へのグッズ提供など多面的に協働しています。事業性は積極的に収益事業に取り組みつつ、ホームゲームがない日の収益化も目指します。私たちの強みであるチームワークもリソースとして活用していきます。

東芝ブレイブルーパス東京



TEAM DATA

①1948年 ②最終順位9位/R5位(3勝4敗) ③東芝 府中事業所敷地内グラウンド/東京都府中市東芝町1
④東京都、府中市、調布市、三鷹市 ⑤薫田真広 ⑥トッド・ブラックアダー ⑦東芝



PICKUP PLAYER

小川高広

1991年3月18日、福岡県生まれ。東福岡高、日本大を経て2013年に東芝に加入。2016年、日本代表に初選出。2017年はサンウルブズにも招集。2019年から徳永祥亮と東芝の共同主将を務める。日本代表キャップ2。170cm、77kg

HOST GAME SCHEDULE

第3節 1月22日(土)
vs. ブラックラムズ東京 [味スタ]
第4節 1月29日(土)
vs. トヨタヴェルブリッツ [駒沢]
第5節 2月5日(土)
vs. 静岡ブルーレヴズ [駒沢]
第8節 3月5日(土)
vs. 横浜キャノンイーグルス [秩父宮]
第9節 3月13日(日)
vs. グリーンロケッツ東葛 [秩父宮]
第10節 3月19日(土)
vs. クボタスピアーズ船橋・東京ベイ [秩父宮]
第14節 4月22日(金)
vs. NTTドコモレッドハリケーンズ大阪 [秩父宮]
第15節 5月1日(日)
vs. 東京サンゴリアス 東京都内

名門のプライドを継承した 勇猛果敢なプレーで復権の兆し。

前リーグで優勝5回の名門。勇猛果敢な激しいプレーに譲れぬプライドを持つ。準優勝した2015年度以降は低迷しているが、近年は強化環境の整備、リクルートの成功もあり復権の兆し。有望新人の筆頭格は高卒新人ながら日本代表に招集された19歳のワーナー・ディアンズ。2021年はW杯2大会で主将を務めたリーチマイケル、徳永祥亮、ジョネ・ナイカブラも代表に送り出す。コーチ増員で環境も再整備。トッド・ブラックアダー HCが3季目となる今季こそ結果が欲しいところ。開幕戦から勝ち星を重ね自信を深めたい。激しさという東芝のDNAを継承した令和時代のスタイルで、リーグワン初代王者を狙う。

GMIが語る、我がチームのココが推し!

可能性にチャレンジすべく事業運営会社を設立しました。事業性と競技性の両輪を強化し、コンテンツとしての魅力を最大化していきます。初年度はファン作りに注力。ホーム会場では試合前後も楽しんでもらえる仕掛けを準備中です。競技面では日本代表で主将の責務を終え、一人の代表選手に戻ったリーチマイケルに注目。多数いる優秀な若手はジャパンに育てて日本代表強化に貢献していきます。今季は世界的コーチを3人追加。再強化している伝統のフィジカルティと現代ラグビーとの融合を進めています。



静岡ブルーレヴズ

TEAM DATA

①1982年 ②最終順位9位/W6位(3勝4敗) ③ヤマハ大久保グラウンド/静岡県磐田市大久保891-106
④静岡県 ⑤山谷拓志 ⑥堀川隆延 ⑦ヤマハ発動機

FW第1列は世代交代も 伝統のスタイルで勝負を挑む。

代表選手は比較的に少なく2021年日本代表も主将の大戸裕矢だけだが、セットプレーという武器の尖鋭化により4強常連の実績を築いてきた。前身のヤマハ発動機で監督だった清宮克幸、現日本代表スクラムコーチの長谷川慎が築いたスクラム文化は唯一無二。生え抜きのプロップだった山本幸輝、山村亮が退団してFW第1列は世代交代。チーム随一の突進力を誇ったヘルウヴェも抜けたが、豪州代表の大砲イシ・ナイサラニを獲得。原石を発掘するスカウトに定評があり、国代表歴のないNZ出身のマロ・ツイタマは昨年リーグ戦のトライ王だ。長所が多いヤマハ時代のスタイルをブルーレヴズ流にアップデートしたい。

GMIが語る、我がチームのココが推し!

ヤマハ発動機ジュビロから静岡のプロフェッショナルクラブに生まれ変わり、「All For Shizuoka 全ては静岡のために」をスローガンに魅力溢れるラグビーを目指します。従来のセットプレーラグビーを強みとしながらも、個人の力量アップを図り、さまざまな局面に対応できることが今季の強化方針。地域密着活動もレガシー事業に力を入れ、10月だけで小中高、特別支援学校など30校を訪問。引退した五郎丸歩もクラブ・リレーションズ・オフィサーとしてフロント入りし、ラグビーの魅力発信に努めています。



PICKUP PLAYER

大戸裕矢

1990年3月9日、埼玉県生まれ。正智深谷高、立命館大を経て2012年にヤマハに加入。2017年、日本代表に初選出。同年と2019年はサンウルブズにも招集。2019年からヤマハの主将を務める。日本代表キャップ4。187cm、104kg

HOST GAME SCHEDULE

第3節 1月23日(日)
vs. 東京サンゴリアス [ヤマハ]
第4節 1月30日(日)
vs. NTTドコモレッドハリケーンズ大阪 [ヤマハ]
第6節 2月19日(土)
vs. 横浜キャノンイーグルス 静岡県内
第10節 3月20日(日)
vs. コベルコ神戸スティーラーズ 静岡県内
第11節 3月27日(日)
vs. 埼玉ワイルドナイツ 静岡県内
第12節 4月9日(土)
vs. ブラックラムズ東京 静岡県内
第14節 4月23日(土)
vs. トヨタヴェルブリッツ 静岡県内
第16節 5月8日(日)
vs. 東芝ブレイブルーパス東京 静岡県内

チーム紹介 | ディビジョン2

多羅正崇=文
text by Masataka Tara

三重ホンダヒート

GMIが語る、
我がチームのココが推し!

ホストエリアの三重県は現状リーグ、Bリーグのチームがなく存在感を示すチャンス。拠点の鈴鹿市では「HEAT授業」と題した道徳授業などを行なっています。企業スポーツは堅持しつつ、今後は県内全域での社会貢献に踏み出し、ラグビーを三重県のスポーツにしたいと思っています。一部スタッフを強化から切り分けて推進する事業面では、観光地でもある三重県の特徴を活かして旅行会社とタイアップする構想も。伝統的にボックスが強みだが、近年はスクラム自慢のFWも武器。日本人選手を強化して標榜する「エキサイティングラグビー」を展開し、チームに関わるすべての人たちに熟さを感じてほしい。



RYOFURUTA

FL
No.8

TEAM DATA

①1961年 ②最終順位9位/R6位(1勝6敗) ③Hondaアクティブランド/三重県鈴鹿市住吉町6731-2 ④三重県 ⑤前田芳人 ⑥上田泰平 ⑦本田技研工業

PICKUP PLAYER

古田凌

1995年9月29日、京都府生まれ。京都成章高、帝京大を経て2018年にホンダに加入。U17日本代表や高校日本代表に選出された経験を持つ。今季から主将に就任しチームを牽引。得意なプレーはタックル。183cm、100kg



HOST GAME SCHEDULE

第1節 1月16日(日)
vs. 釜石シーウェイブス [鈴鹿]
第3節 1月30日(日)
vs. 日野レッドドルフィンズ [鈴鹿]
第4節 2月13日(日)
vs. 三菱重工相模原ダイナボアーズ [鈴鹿]
第7節 3月13日(日)
vs. スカイアクティヴズ広島 [鈴鹿]
第8節 3月20日(日)
vs. 花園近鉄ライナーズ [鈴鹿]



HOST GAME SCHEDULE

第1節 1月10日(月祝)
vs. 花園近鉄ライナーズ [秩父宮]
第2節 1月22日(土)
vs. スカイアクティヴズ広島 [ギオンズ]
第3節 2月5日(土)
vs. 釜石シーウェイブス [ギオンズ]
第8節 3月19日(土)
vs. 日野レッドドルフィンズ [ギオンズ]
第10節 4月9日(土)
vs. 三重ホンダヒート 未定

三菱重工相模原ダイナボアーズ

GMIが語る、
我がチームのココが推し!

全国に分散していたスポーツ活動を本社で一元的に運営する新体制が2021年度より本格始動。相模原製作所のラグビーも本社広報部の新組織に移管され、三菱重工業として強化を推進していきます。拠点は創部50年来的地元である相模原市と、新たなホストエリアである神奈川県。地域活動は2003年のトップリーグ開幕以前から行っており、チーム単独開催の「ダイナボアーズフェスタ」は約3500人の集客実績がある。今季は伝統のボールを動かすアタックに加えて攻撃的な守備に注力中。注目選手は有望株が多い日本人選手全員。ラグビーを通じて皆さまと夢と感動を分かち合い、1部昇格を勝ち取りたい。



MAKOTOTOSA

FL
No.8

TEAM DATA

①1971年 ②最終順位9位/R7位(1勝1分5敗) ③三菱重工業相模原グラウンド/神奈川県相模原市中央区田名3000 ④神奈川県、相模原市 ⑤石井晃 ⑥グレッグ・クーパー ⑦三菱重工業

PICKUP PLAYER

土佐誠

1986年6月28日、山口県生まれ。尾道高、関東学院大を経て2009年にNECに加入。同年、オックスフォード大に留学。NECを退団後、豪州でのプレーを経て2017年に三菱重工に加入し、翌年から主将。188cm、112kg

日野レッドドルフィンズ

GMIが語る、
我がチームのココが推し!

積極的に地域活動を推進しています。2018年、地域密着型を目指し他チームに先駆けて企業名を外しました。拠点がある東京都日野市は歴史的に農業、工業の盛んな街。これまでも選手主体で地元農作物のPRや地元飲食店と連携した巡回イベントなどを行ってきました。地域への愛着から主体的に行動できる選手たちは私たちの誇りであり、宝です。事業性はスポーツ運営に長けた人材を登用して強化中。チームは統率性に優れた堀江、チームマンのブルという2人の共同主将が大黒柱。80分間スペースにアタックする勇敢な攻撃的スタイルで、地域の皆さんに勇気や感動を与え、愛されるチームを目指しています。



KYOSUKE HORIE

No.8

TEAM DATA

①1950年 ②最終順位9位/W7位(1勝5敗) ③日野自動車総合グラウンド/東京都日野市新町5-18-1 ④東京都日野市、八王子市および周辺地域(調整中) ⑤細谷賢一 ⑥箕内拓郎 ⑦日野自動車

PICKUP PLAYER

堀江恭祐

1990年7月11日、東京都生まれ。東京高、明治大を経て2013年にヤマハに加入。同年の新人王などを獲得。2014年、日本代表に初選出。2019年に日野に加入し、2020年から共同主将。日本代表キャップ3。184cm、107kg



HOST GAME SCHEDULE

第2節 1月23日(日)
vs. 釜石シーウェイブス [秩父宮]
第4節 2月12日(土)
vs. 花園近鉄ライナーズ [秩父宮]
第5節 2月19日(土)
vs. 三菱重工相模原ダイナボアーズ [上植木陸]
第6節 3月6日(日)
vs. 三重ホンダヒート [武蔵野陸]
第10節 4月10日(日)
vs. スカイアクティヴズ広島 東京都内

花園近鉄ライナーズ



GMが語る、
我がチームのココが推し!

創部92年の歴史と実績と東大阪市花園ラグビー場がホームグラウンドという最高のアドバンテージがあり、試合運営は徹底的にこだわります。ホームゲームは試合前後も楽しめる「お祭り」にしたい。ホストエリアの大阪府、特に東大阪市は市内公立中に当たり前のようにラグビー部がある日本屈指のラグビータウン。市とは綿密に連携しており地域イベントへの参加、登下校の見守り活動は継続拡大します。チームは選手目線の水間HCの下、「近鉄漢(マン)」をスローガンに1部昇格へ士気が高い。ボールがよく動くラグビーでワクワクさせたい。大阪のチームとして楽しませることに決して負けられない。



TEAM DATA

①1929年 ②最終順位9位/チャレンジ2位 ③東大阪市花園ラグビー場/大阪府東大阪市松原南1-1-1 ④東大阪市、大阪府 ⑤飯泉景弘 ⑥水間良武 ⑦近鉄グループホールディングス

PICKUP PLAYER

野中翔平

1995年11月17日、大阪府生まれ。東海大仰星高、同志社大を経て2018年に近鉄に加入。近鉄グループホールディングスの総合職として鉄道に勤務していたが、2020年にプロ契約。2021年から主将に就任。183cm、100kg

HOST GAME SCHEDULE

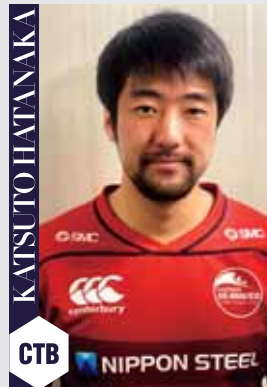
- 第2節 1月22日(土)
vs. 三重ホンダヒート [花園]
第5節 2月19日(土)
vs. 釜石シーウェイブス [花園]
第6節 3月6日(日)
vs. スカイアクティクス広島 [花園]
第7節 3月12日(土)
vs. 三菱重工相模原ダイナポアーズ [花園]
第9節 4月1日(金)
vs. 日野レッドドルフィンズ [花園]



釜石シーウェイブスRFC

GMが語る、
我がチームのココが推し!

新日鐵釜石ラグビー部の歴史を継承するクラブチームとして2001年に誕生し、全国約500社の支援を受けて釜石市に根ざし活動しています。釜石市も会場となった2019年W杯を契機に市内で若年層の競技人口が増加。一般社団法人化した2021年は受け皿のアカデミーも始動しました。地域活動はタグラグビー教室の他、震災復興住宅での昼食会など。リーグワンでは東北・北海道で唯一のチームであり、市外での活動も拡大する予定です。今季は釜石の誇りとなるべく、伝統のひたむきさに加えてフィジカル、メンタルを強化。ビジョンは「釜石の誇りに東北の夢に日本の希望に KAMAISHI を世界の共通語に」。



TEAM DATA

①2001年 ②最終順位21位/チャレンジ5位 ③釜石市球場(松倉グラウンド)/岩手県釜石市甲子町第10地割159-4 ④岩手県釜石市 ⑤桜庭吉彦 ⑥須田康夫 ⑦日本製鉄

PICKUP PLAYER

山中豪士

1996年9月25日、北海道生まれ。函館工高、大東文化大を経て2019年に釜石に加入。社員選手で日本製鉄株式会社東日本製鉄所に勤務。今季は新設されたヤングリーダーの一人としてチームを支える。178cm、90kg

マツダスカイアクティクス広島



TDが語る、
我がチームのココが推し!

ラグビーで広島を熱くします。地元のプロスポーツチームと連携し「広島丸」で平和で持続可能な社会、地域スポーツを共創したい。企業スポーツとしての約60年の歴史、先人の魂は継承しつつ事業力はスケールアップさせます。プロ興行の見学、運営ノウハウの共有を通してチームは意識改革が進行中。ホームゲームでは全世代が楽しめる企画を考えており、ぜひ広島会場に足を運んでください。時代に対応して柔軟にラグビースタイルは進化させますが、一人ひとりの力を大きな力に変えていき、絶え間ない攻防で圧倒する伝統は健在です。広島県民、マツダ社員が、愛着と誇りを持つ強いチームであり続けたい。



TEAM DATA

①1963年 ②最終順位24位/チャレンジ8位 ③マツダトレーニングセンター 鯛尾グラウンド/広島県安芸郡坂町鯛尾2-6 ④広島県 ⑤大田和成(チームディレクター) ⑥中居智昭 ⑦マツダ

PICKUP PLAYER

佐藤羅雲

1997年4月8日、徳島県生まれ。つるぎ高、帝京大を経て2020年にマツダに加入。U17日本代表、高校日本代表候補に選出された経験を持つ。大学時代は副将。今季から同期の亀井康平とともに共同主将。185cm、100kg

HOST GAME SCHEDULE

- 第1節 1月9日(日)
vs. 日野レッドドルフィンズ [パルコム]
第3節 2月6日(日)
vs. 花園近鉄ライナーズ [パルコム]
第5節 2月20日(日)
vs. 三重ホンダヒート [パルコム]
第8節 3月20日(日)
vs. 釜石シーウェイブス [パルコム]
第9節 4月2日(土)
vs. 三菱重工相模原ダイナポアーズ 広島市内

宗像サニックスブルース

監督が語る、
我がチームのココが推し!

伝統的に無名選手がトップにチャレンジできる可能性が魅力。好影響を与える海外一流選手が存在も伝統で、日本代表のジェイミー・ジョセフHCはOB。福岡県宗像市は28年来的ホストエリアで、地元小学校でのラグビー教室は約20年前から続いています。市内では駅などで朝30分の清掃、小学校での挨拶運動、地域イベントへの参加などを通して地域貢献と認知拡大に努めています。事業性は地域協会などと連携して向上させます。旧リーグ1部から唯一3部になったが、選手の大規模減もなし。九州出身の楽しみな新戦力が多く、シンプルかつエキサイティングなアタックラグビーで2部昇格、1部返り咲きを目指します。



BINAMIN RAYYAGI

WTB
FB

TEAM DATA

①1994年 ②最終順位17位/R8位(1勝6敗) ③サニックス玄海グラウンド/福岡県宗像市神湊1268-59 ④福岡県宗像市/福岡県北九州市(セカンドアリーナ) ⑤松園正隆(監督) ⑥ダミアン・カラウナ ⑦サニックス

PICKUP PLAYER

屋宜ベンジャミンレイ

1988年3月5日、沖縄県生まれ。石川高、流通経済大を経て2010年にヤマハ発動機に加入。沖縄のアマチュアラグビークラブ・シーサークラブを経て2013年にサニックスに加入。今季から初の主将に就任。175cm、78kg



HOST GAME SCHEDULE

第1節 1月16日(日)
vs. 豊田自動織機シャトルズ愛知 [ミクスタ]
第2節 1月22日(土)
vs. 中国電力レッドレグリオンズ [グローバル]
第5節 2月20日(日)
vs. クリタウォーターガッシュ昭島 [本城陸]
第8節 未定
vs. 九州電力キューデンヴォルテクス 未定
第9節 4月3日(日)
vs. 清水建設江東ブルーシャークス [グローバル]



豊田自動織機シャトルズ愛知

GMIが語る、
我がチームのココが推し!

刈谷市を含む近隣9つの自治体を中心に地域貢献活動に取り組んでいます。地域の皆さんとの交流の場が増えることで、身近な存在になりたい。選手は活動前に、自分たちが地域住民に何を伝え、ラグビーから何をもらいたいかを話し合い、活動直後には振り返りのミーティングを行って、より目的意識を持った活動をしています。チームにはスター選手はいないものの、選手一人ひとりの絆を強め、戦略、戦術を高めてチームワークで結果に結びつけたい。チームは「3年後の日本一」を目指し、ハードワークに取り組んでいます。チームの士気は上昇ムード。地域を元氣にするためにワクワクする試合をしたい。



KENSUKE HATAKEYAMA

PR

TEAM DATA

①1984年 ②最終順位17位/チャレンジ1位 ③豊田自動織機刈谷グラウンド/愛知県刈谷市市町8-30 ④愛知県 ⑤夏山昌利 ⑥徳野洋一 ⑦豊田自動織機

PICKUP PLAYER

高山健介

1985年8月2日、宮城県生まれ。仙台育英高、早稲田大を経て2008年にサントリーに加入。W杯2011・2015日本代表。2016年から海外リーグでもプレーし、今年10月に豊田自動織機に加入。日本代表キャップ78。178cm、113kg

清水建設江東ブルーシャークス

GMIが語る、
我がチームのココが推し!

仕事とラグビーを100%で両立させる文化があります。現役時代はハードワークだが第一線を退いてもスムーズに社業ができる。チーム名に入った東京都江東区とは連携協定を結び、地元イベントへの参加など地域密着活動を進めています。練習拠点がある横浜市で開催した小学生大会「清水建設カップ」は約1500人が参加。社業をしながらのチーム運営であり事業力強化は検討段階。2001年にクラブ化したチームで、清水建設のほか他企業の社員、外国人選手が在籍。多彩な人材で昨季はトップリーグのプレーオフに出場し、引き続きチャレンジ精神で、社業とラグビーの双方で掲げる高い目標に挑戦していきます。



KODAI TAKAHASHI

FL
Lo

TEAM DATA

①1976年 ②最終順位17位/チャレンジ4位 ③清水建設 在田グラウンド/神奈川県横浜市都筑区荏田南町741 ④東京都江東区 ⑤越野倫太 ⑥麻田一平 ⑦清水建設

PICKUP PLAYER

高橋広大

1998年5月9日、群馬県生まれ。桐蔭学園高、明治大を経て2021年に清水建設に加入。U17日本代表、高校日本代表に選出された経験を持つ。大学4年時には寮長を務めた。リーグワ元年の主将に就任。182cm、87kg



HOST GAME SCHEDULE

第1節 1月15日(土)
vs. クリタウォーターガッシュ昭島 [夢の島]
第4節 2月12日(土)
vs. 宗像サニックスブルース [夢の島]
第6節 2月27日(日)
vs. 中国電力レッドレグリオンズ [夢の島]
第7節 3月5日(土)
vs. 九州電力キューデンヴォルテクス [夢の島]
第10節 4月9日(土)
vs. 豊田自動織機シャトルズ愛知 東京都内

クリタウォーターガッシュ昭島

GMが語る、
我がチームのココが推し!

2018年に神奈川・厚木市から拠点を移した東京都昭島市がホストエリア。地域に愛されるチームを目指し、ラグビー体験教室などを通して地域での認知向上に努めています。2021年にはファンクラブも立ち上がりました。今季は部史上初めて主要コーチ陣がチームOBから外部コーチに。一体感を重視するタミガン新HCの巧みなチームビルディングで雰囲気は良い。重点課題のスクラム強化は元日本代表の山村亮コーチが担当。今季は伝統の堅守にボールの展開力が増えました。リーグワンでは環境を言い訳にせず、ラグビーと仕事の両立を通じて高い目標に挑戦し続け、観る人すべてに勇気を与えて感動を共にしたい。



YOSUKEISHII
FL

TEAM DATA

①1962年 ②最終順位22位/チャレンジ6位 ③栗田工業 昭島グラウンド/東京都昭島市拜島町3990-3 ④東京都昭島市 ⑤森勝己 ⑥リッキー・ダミガン ⑦栗田工業

PICKUP PLAYER

石井洋介

1997年8月18日、神奈川県生まれ。桐蔭学園高、明治大を経て2020年に栗田工業に加入。高校日本代表に選出された経験を持ち、大学3年時は日本一に貢献。社員選手で会社ではデジタル戦略本部に所属。183cm、93kg



HOST GAME SCHEDULE

- 第2節 1月23日(日)
vs. 豊田自動織機シャトルズ愛知 未定
- 第3節 2月6日(日)
vs. 清水建設江東ブルーシャークス 東京都内
- 第4節 2月13日(日)
vs. 中国電力レッドレグリオンズ [AGFフィ]
- 第7節 3月13日(日)
vs. 宗像サニックスブルース [荻野隆]
- 第10節 4月10日(日)
vs. 九州電力キューデンヴォルテクス 未定



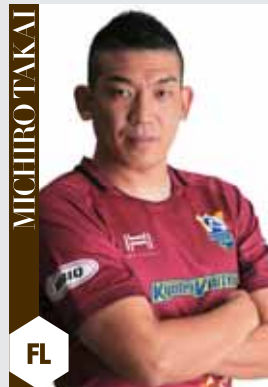
HOST GAME SCHEDULE

- 第1節 1月15日(土)
vs. 中国電力レッドレグリオンズ [ベスタ]
- 第2節 1月23日(日)
vs. 清水建設江東ブルーシャークス [博多の森陸]
- 第3節 1月30日(日)
vs. 宗像サニックスブルース [ベスタ]
- 第6節 2月27日(日)
vs. クリタウォーターガッシュ昭島 [白波スタ]
- 第9節 3月26日(土)
vs. 豊田自動織機シャトルズ愛知 [えがおS]

九州電力キューデンヴォルテクス

監督が語る、
我がチームのココが推し!

企業スポーツのアマチュアリズムは堅持しつつ2部昇格、1部チームへのチャレンジを目指します。困難な挑戦をする選手を後押しするべく、部史上初のスポンサー獲得を進めています。ファンクラブも一新し、2022年4月にはアカデミーも設立予定。地域活動はホストエリアの福岡、フレンドリーエリアの九州でのタグラグビー教室開催をさらに推進。拠点の福岡・香椎で行なってきた合宿は九州各県で順次行ないたい。今季チームは模範的な高井ら“主将4人、体制。岡や安里などルーキーは有望。試合では堅守を基本に、困難な状況においても絶対に諦めず戦い抜く。昨年と比べ攻守のスピードが増しており期待できます。



MICHIRO TAKAI
FL

TEAM DATA

①1951年 ②最終順位23位/チャレンジ7位 ③九州電力香椎競技場/福岡県福岡市東区松香台1-4-1 ④福岡市/九州全域(フレンドリー) ⑤赤間勝(監督) ⑥ゼイン・ヒルトン ⑦九州電力

PICKUP PLAYER

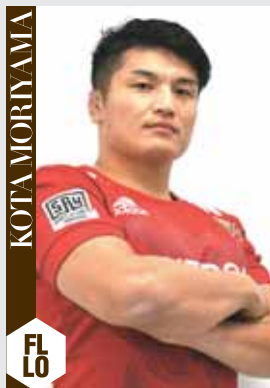
高井迪郎

1989年12月13日、大分県生まれ。大分舞鶴高、日本体育大を経て2012年に九州電力に加入。U20日本代表や7人制日本代表などに選出された経験を持つ。2020年から共同主将の一人としてチームを牽引。187cm、99kg

中国電力レッドレグリオンズ

監督が語る、
我がチームのココが推し!

部史上初めて外国人選手2名が加入しましたが、基本は始業から定時まで働く「サラリーマン集団」。仕事とラグビーの両立を誇っています。ホストエリアの広島県で開催してきたラグビー教室はフレンドリーエリアの中国5県に拡大予定。2018年の豪雨災害で広島県が被害を受け、復興ボランティアなどを通して地域活動の意識がより高まり、継続的に復興活動に個人参加する選手・スタッフもいます。ピッチでは主将の松永と副将の畑中を、タックルに秀でた森山など4人のリーダー陣が支える。全員ラグビーで大きくボールを動かし、生み出したスペースを攻略。速い守備やボールの争奪局面にもこだわりたいと思います。



KOTAMORIYAMA
FL

TEAM DATA

①1987年 ②最終順位25位/チャレンジ9位 ③中国電力坂グラウンド/広島県安芸郡坂町平成ヶ浜4-1-73 ④広島県/中国地方全域(フレンドリー) ⑤脊川穂(監督) ⑥岩戸博和 ⑦中国電力

PICKUP PLAYER

森山皓太

1993年11月29日、京都府生まれ。東山高、摂南大を経て2016年に中国電力に加入。2018年に九州選抜「Q-LANDERS」に選出され、ニュージーランド大学クラブ選抜と対戦した。得意なプレーはタックル。186cm、110kg



HOST GAME SCHEDULE

- 第3節 1月29日(土)
vs. 豊田自動織機シャトルズ愛知 [みらスタ]
- 第5節 2月19日(土)
vs. 九州電力キューデンヴォルテクス [パルコMR]
- 第8節 3月19日(土)
vs. 清水建設江東ブルーシャークス [パルコMR]
- 第9節 4月3日(日)
vs. クリタウォーターガッシュ昭島 広島市内
- 第10節 4月9日(土)
vs. 宗像サニックスブルース 広島市内

STADIUM

ホストゲーム開催スタジアムマップ

DIVISION 2 (D2)

三重ホンダヒート

鈴鹿 三重交通G スポーツの杜 鈴鹿サッカー・ラグビー場(三重県)

三菱重工相模原ダイナボアーズ

秩父宮 秩父宮ラグビー場(東京都)
ギオンズ 相模原ギオンズスタジアム(神奈川県)

日野レッドドルフィンズ

秩父宮 秩父宮ラグビー場(東京都)
上柚木陸 上柚木公園陸上競技場(東京都)
武蔵野陸 武蔵野市立武蔵野陸上競技場(東京都)

花園近鉄ライナーズ

花園 東大阪市花園ラグビー場(大阪府)

釜石シーウェイブスRFC

秩父宮 秩父宮ラグビー場(東京都)
釜石復興 釜石鶴住居復興スタジアム(岩手県)

マツダスカイアクティブズ広島

パルコムS Balcom BMW Stadium(広島県)

DIVISION 3 (D3)

宗像サニックスブルース

ミクスタ ミクニワールドスタジアム北九州(福岡県)
グローバル グローバルアリーナ(福岡県)
本城陸 北九州市立本城陸上競技場(福岡県)

豊田自動織機シャトルズ愛知

刈谷 ウェーブスタジアム刈谷(愛知県)
パロ瑞穂ラ パロ美瑞穂ラグビー場(愛知県)

清水建設江東ブルーシャークス

夢の島 江東区夢の島競技場(東京都)

クリタウォーターガッシュ昭島

AGFフィー AGFフィールド(東京都)
荻野陸 荻野運動公園陸上競技場(神奈川県)

九州電力キューデンヴォルテクス

ベストスタ ベスト電器スタジアム(福岡県)
博多の森陸 東平尾公園博多の森陸上競技場(福岡県)
白波スタ 白波スタジアム(鹿児島県)
えがおS えがお健康スタジアム(熊本県)

中国電力レッドレグリオンズ

みらスタ 維新みらいふスタジアム(山口県)
パルコムR Balcom BMW Rugby Stadium(広島県)

リーグ戦

各ディビジョンで6チーム総当たり×2回戦=各チーム10試合(うち5試合ホストゲーム)を行う。勝ち点制により順位を決定する。

順位決定戦/D2D3入替戦

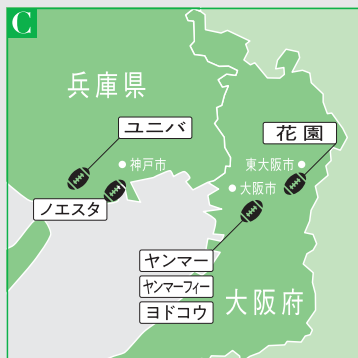
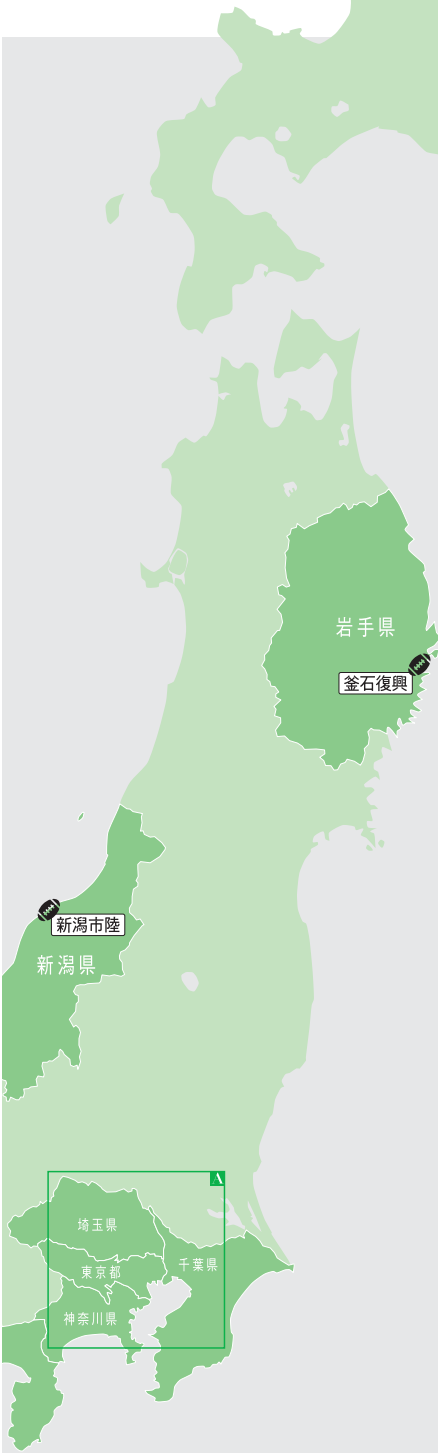
上位3チームと下位3チームそれぞれ総当たり1回戦(各チーム2試合)を行い、勝ち点により最終順位を決める。D2下位3チームはD3上位3チームと入替戦を行う(ホスト&ビジター各2回戦)。

順位決定戦

5月下旬 D2 1位 vs. D2 3位 / D3 1位 vs. D3 3位
D2 4位 vs. D2 6位 / D3 4位 vs. D3 6位
5月下旬 D2 2位 vs. D2 3位 / D3 2位 vs. D3 3位
D2 5位 vs. D2 6位 / D3 5位 vs. D3 6位
5月下旬 D2 1位 vs. D2 2位 / D3 1位 vs. D3 2位
D2 4位 vs. D2 5位 / D3 4位 vs. D3 5位

D2D3入替戦(ホスト&ビジター)

5月下旬 D2 6位 vs. D3 1位
D2 5位 vs. D3 2位
D2 4位 vs. D3 3位
5月下旬 D3 1位 vs. D2 6位
D3 2位 vs. D2 5位
D3 3位 vs. D2 4位



DIVISION 1 (D1)

Conference A

埼玉パナソニックワイルドナイツ

熊谷 熊谷スポーツ文化公園ラグビー場(埼玉県)

クボタスピアーズ船橋・東京ベイ

国立 国立競技場(東京都)
江戸川 江戸川区陸上競技場(東京都)
新潟市陸 新潟市陸上競技場(新潟県)

コベルコ神戸フスティールーズ

ノエスタ ノエビアスタジアム神戸(兵庫県)
ユニバ 神戸総合運動公園ユニバー記念競技場(兵庫県)

横浜キャノンイーグルス

日産ス 日産スタジアム(神奈川県)
ニッパツ ニッパツ三ツ沢球技場(神奈川県)
秩父宮 秩父宮ラグビー場(東京都)
昭和電D 昭和電工ドーム大分(大分県)

NTTコミュニケーションズ シャイニングアークス東京ベイ浦安

秩父宮 秩父宮ラグビー場(東京都)
夢の島 江東区夢の島競技場(東京都)

NECグリーンロケッツ東葛

柏の葉 柏の葉公園総合競技場(千葉県)

Conference B

東京サントリーサンゴリアス

味の素 味の素スタジアム(東京都)
秩父宮 秩父宮ラグビー場(東京都)

トヨタヴェルブリッツ

豊田ス 豊田スタジアム(愛知県)
パロマ パロマ瑞穂ラグビー場(愛知県)
長良川陸 岐阜メモリアルセンター 長良川競技場(岐阜県)

NTTドコモレッドハリケーンズ大阪

ヨドコウ ヨドコウ桜スタジアム(大阪府)
ヤンマー ヤンマースタジアム長居(大阪府)
ヤンマーF ヤンマーフィールド長居(大阪府)

リコーブラックラムズ東京

駒沢 駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場(東京都)
秩父宮 秩父宮ラグビー場(東京都)

東芝ブレイブルーパス東京

味の素 味の素スタジアム(東京都)
駒沢 駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場(東京都)
秩父宮 秩父宮ラグビー場(東京都)

静岡ブルーレヴズ

ヤマハ ヤマハスタジアム(静岡県)

リーグ戦

各カンファレンスで6チーム総当たり×2回戦=各チーム10試合(うち5試合ホストゲーム)およびカンファレンス交流戦各チーム6試合(うち3試合ホストゲーム)を行う。勝ち点制により順位を決定する。

プレーオフトーナメント/D1D2入替戦

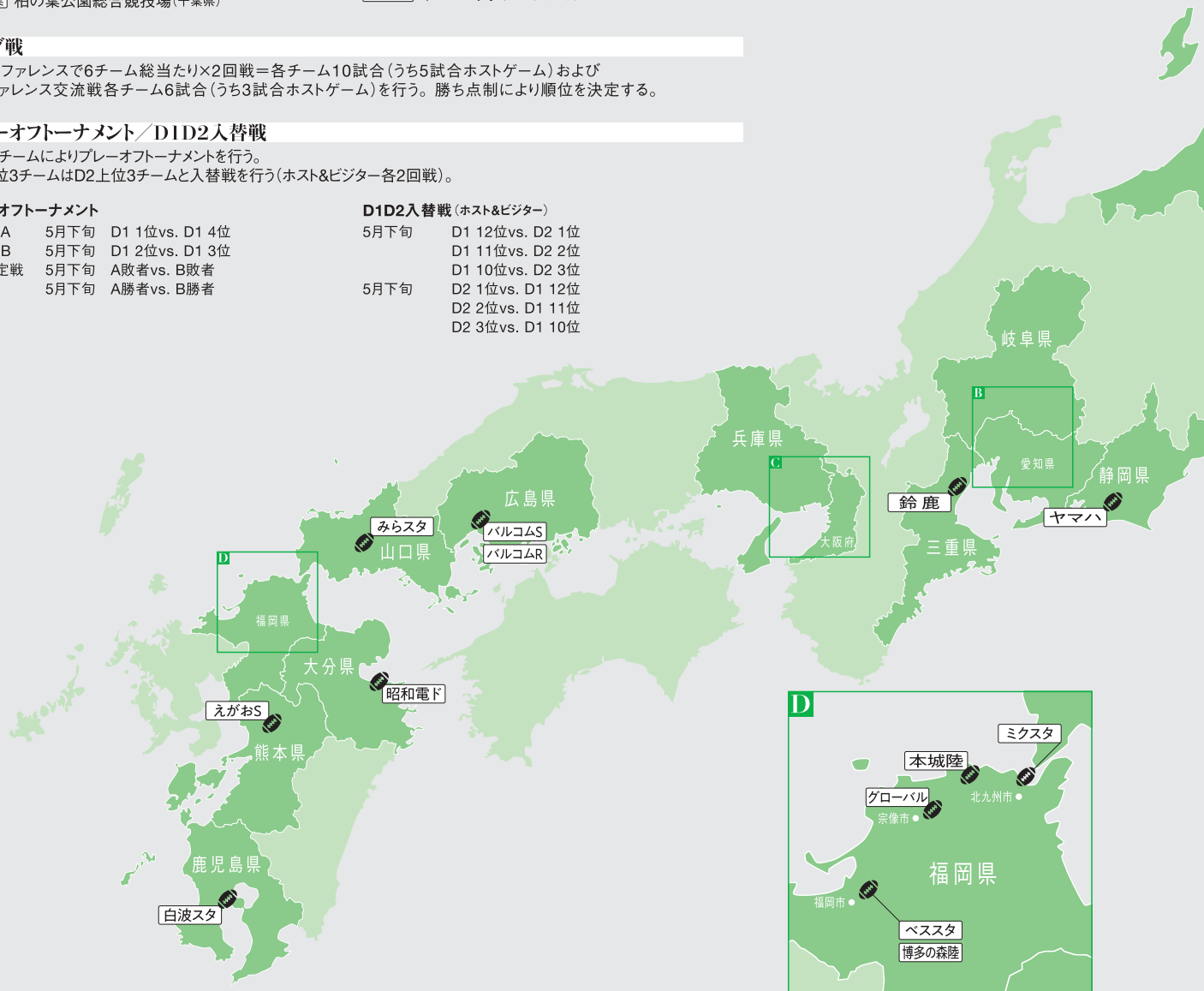
上位4チームによりプレーオフトーナメントを行う。
D1下位3チームはD2上位3チームと入替戦を行う(ホスト&ビジター各2回戦)。

プレーオフトーナメント

準決勝A 5月下旬 D1 1位vs. D1 4位
準決勝B 5月下旬 D1 2位vs. D1 3位
3位決定戦 5月下旬 A敗者vs. B敗者
決勝 5月下旬 A勝者vs. B勝者

D1D2入替戦(ホスト&ビジター)

5月下旬 D1 12位vs. D2 1位
D1 11位vs. D2 2位
D1 10位vs. D2 3位
5月下旬 D2 1位vs. D1 12位
D2 2位vs. D1 11位
D2 3位vs. D1 10位



「ラグビーを 観る楽しみ」

LEAGUE ONE 新時代到来!

堂場瞬一 = 文
text by Shunichi Doba
岡田航也 = イラスト
illustration by Koya Okada

ラグビーには「観る」他に「聴く」楽しみがある。

生身の人間同士が全速力で走ってぶつかり合う音を聴く機会は、なかなかない。しかしラグビーでは、このぶつかり合いがプレーの基本なのだ。姿勢を低くして当たっていく選手をタックルで止めようとする——特に体重的なフォワード同士の衝突は、初めて聴く人には身震いするような恐怖を起こさせるらしい。「がつん」とか「どすん」とか、とにかく重く痛そうな音で、フィールドのあちこちで交通事故が連発している感じだろうか。例えば相撲で、立ち合いで頭と頭がぶつかり、壮絶な音があるが、あれに近いと言えるかもしれない。ラグビーは「走る、蹴る、パスする、当たる、止める」と様々な要素で成り立つ複雑なスポーツだが、原点は「フルコンタクト」。まさに格闘技の側面を感じさせる音である。

スクラムを組む時も同様だ。国内外のトップクラスでは、スクラムでは総重量ほぼ1トンの八人同士が組み合うから、組む瞬間の音はさらに重々しい。他のスポーツでは、まず聴くことはできないだろう。こういう音を楽しむためには、狭い——フィールドとスタンドの距離ができるだけ近いスタジアムがいい。

例えば聖地・秩父宮。スタンド最前列とフィールドのサイドラインは数メートルほどしか離れていないし、スタンドの位置も低いので、前列に陣取れば、ライン際での強烈なぶつかり合いが堪能できる。

新しいところでは、二〇一九年ワールドカップの会場ともなった、釜石市の鶴住居復興スタジアムもいい。ここは秩父宮よりもさらにスタンドとフィールドの距離が近い感じで（測ったわけではないが）、迫力はさらにアップする。私はここで、ワールドカップのウルグアイーフィジー戦を観戦したのだが、席が前方だったせいもあり、巨漢の外国人選手同士のぶつかり合いを思い切り堪能できた。残念ながらテレビ中継では、こういう音をなかなか拾ってくれないので、現地観戦をぜひお勧めする。

さらに視覚面でのラグビーならではの現象というところ、「湯気」がある。スクラムなどで選手が集まっていると、立ち上がる汗の湯気がはつきり見える時があるのだ。他のスポーツではなかなか見られない現象だが、元々は

冬場のスポーツだったので、試合中には当然前の光景と言える。

来年一月七日、まさに真冬に開幕する「LEAGUE ONE」では、こういう場面はしばしば目撃できるはずだ。ラグビー観戦はやはり、寒い日の方が「らしさ」を味わえる。だから防寒対策をしっかりとって、うんと寒い日の試合にこそ出向いて欲しい。コロナ禍で声援は抑えよう、ということになっていたら、その分ぶつかり合いの音も存分に楽しめる。

ワールドカップでラグビーにはまった人は多かったと思うが、直後のコロナ禍で、本腰を入れて観戦を始めようとした途端に出鼻を挫かれたと思う。しかし「LEAGUE ONE」では、さらにレベルアップした戦いを期待したい。

どんなスポーツにも言えることだが、国内のトップチーム同士の試合がレベルアップすれば、日本代表の強化に直結する。Jリーグ発足を経て、日本サッカーがワールドカップ初出場を果たしたのがいい例だろう。さらに裾野が広がれば、今後ラグビーをやってみようと思う子どもたちが増え、全体的な底上げが可能になるはず——プラスのスパイラルに期待したい。

次回、二〇二三年のワールドカップフランス大会が間近に迫る中、「LEAGUE ONE」は日本ラグビーの今後を占う試金石になるはずだ。この新リーグの先には、日本代表の新たな戦いが待っている。



Sports Graphic 「スポーツグラフィック」 PLUS
Number

November 2021 定価(本体)1300円+税

競馬
ノンフィクション
選集

名馬

*Legends
on the Turf
1980-2021*

堂

々。

**発売
即増刷!**

[巻頭言]

武豊「僕と名馬とナンバーと」

オグリキャップ ディープインパクト

トウカイテイオー サイレンススズカ

ナリタブライアン オルフェーヴル

ライスシャワー ウオッカ ほか

トライしなければ、
世界は変わらない。



MUFG PURPOSE

MUFGは、存在意義(パーパス)を「世界が進むチカラになる。」と定義し、持続可能な社会の実現に一層貢献していきます。

未来の世代のチカラに

お客さまやパートナーのチカラに

地域や社会のチカラに

MUFGの仲間のチカラに

地域や社会のチカラに

「One for All, All for One」を合言葉に、チームで前へ前へと進むラグビー。

MUFGも同じ姿勢で、地域や社会の課題解決に挑みたいと思っています。

スポーツの「チカラ」を、地域や社会の「チカラ」に。

2022年、想いをひとつに、MUFGはJAPAN RUGBY LEAGUE ONEと共に
新たな挑戦をはじめます。

「世界を進めるACTION」の
より詳しい情報はこちらへ

世界が進むチカラになる。



三菱UFJフィナンシャル・グループ

<https://www.muftg.jp>

世界が進むチカラになる。

